高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 国語 科目 現代文演習

単位数: 2 単位 教 科: 国語 科 目: 現代文演習

対象学年組:第 3 学年 A 組

教科担当者:(A組:竹内聖人 (組:) (組:) (組:) (組:)(組:)

使用教科書: LT実戦長文読解(浜島書店)、大学共通テスト現代文(駿台文庫)

の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かうカ、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自 覚や態度を養う。

科目 現代文演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
大学入試レベルの文章を読み、理解することができる。また、大学入試レベルの文章を読むのに十分な言葉の知識を身につけている。	ロセスなどについて説明することができる。	解しようとするとともに、問題の解法のプロセスなどついて伝え合おうとしている。

	労ニの目仕始れた済口 梅	化道荷口 内穴		領域	芃	三亚 1年 1年 14年	źπ		삼	配当
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話・聞	書	読	評価規準	치	思	悲	時数
1 学期	単元 評論が能 「知識及び技能】 大学入試いんの文章を読み、、大学入試にルルの文章を読み、、大学入試として文章を読み、、大学分はとれての立る。まむのる。まむのる。まむのる。まむのる。 理解は大きなの知知のない。 「世解して、大学の大学をでは、大学の大学の大学をできる。 「大学の大学をできるでは、大学のでは、大学のでは、一般では、大学のでは、では、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のできた。 「大学の大学をできた。」では、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学をは、大学をは、大学をは、大学をは、大学のでは、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	 ・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等 		0	0	【知識及び技能】 大学入試レベルの文章を読み、理解できている。また、大学入試レベルの文章を読むのに十分な言葉の知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 大学入試レベルの問題を解くうえで必要なプロセスなどについて説明し、また文章の内容に即して内容を説明・要約する文を記述している。自分で積極的に語彙を調べ、文章の内容を構成や展開に即して捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試レベルの文章を進んで読み取って理解しようとするとともに、問題の解法のプロセスなどついて伝え合おうとしている。		0	0	19
	定期考査						0	0		1
2 学期	単元 評論小説 【知識及状能】 大学入試かれいの文章を読み、、 理解はいいいの文章を読み、、 理解はいいいの文章を読み、、 世解は、大十分な言またのはある。 【思考力試として文章につけ力等】 、ベルの知識を身、問題を四のなどのは、 、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	 ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 		0	0	【知識及び技能】 大学入試レベルの文章を読み、理解できている。また、大学入試レベルの文章を読むのに十分な言葉の知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 大学入試レベルの問題を解くうえで必要な内容を認明・要約する文を記でしている。自分で積極的に語彙を調べ、文章の内容を構成や展開に即して捉えようとしている。自分で積極的に話彙を調べとしている。自分で積極的に話彙を調べとしている。自分で積極的に話彙を調べとしている。自分で積極的に話彙を調べとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試レベルの文章を進んで読み取って理解しようとするとともに、問題の解法のプロセスなどついて伝え合おうとしている。		0	0	34
	定期考査						0	0		1

理学分 【大で明容う彙開 【大み取判ペロ文要名、 一、 こん にの 部	】 ルルで文を力でいる等では、大十 のいで変を決しているできた。 でで文を力でいるできた。 では、大十 のいでである。 では、大十 のでは、大十 のでは、大十 のでは、大きなでは、大きなでは、大十 のでは、大十 のでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大十 のでは、大十 のでは、大きなでは、大きなでは、大十 のでは、大十 のでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大十 のでは、大きないは、大きないは、大きなでは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きなでは、大きないは、大きなでは、大きないは、ためないは、大きないは、ないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、ないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、ためないは、大きないは、大きないは、ないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、ためないは、大きないは、大きないは、大きないは、大きないは、ためないはないはないはないはないはないはないはないはないはないはないはないはないはな	 ・指導事項 ・数材 ・一人 1 台端末の活用 	等	0	0	【知識及び技能】 大学入試レベルの文章を読み、理解できている。また、大学入試レベルの文章を読むのに十分な言葉の知識を身につけている。 【思考カ、判断力、表現力等】 大学入試レベルの問題を解くうえで必要なプロセスなどについて説明し、また文章の内容に即して内容を説明・医療を調べ、文章の内容を構成や展開に即して捉えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試レベルの文章を進んで読み取って理解したとするとともに、問題の解法のプロセスなどついて伝え合おうとしている。	0	0	15
									70

国語 日本文化 高等学校 令和6年度 教科 科目

単位数: 2 単位 科 目: 日本文化 教 科: 国語

対象学年組:第 3 学年 A 組 ~ B 組 教科担当者: (AB組:田鹿、須賀、宮之原)

使用教科書: (

の目標: 自己や社会への理解,地域との横断的な活動を通して自ら学び,自ら考え主体的に判断し,よりよく問題を解決する資質・能力を育成する. 教科 国語

【 知 識 及 び 技 能 \cdot 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義を必能を表し、探究の意意を表し、表もの値を理解するようにする。

【思考力、判断力、表現力等 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まと め・表現することができるようにする。

【学びに向かうカ、人間性等 - 探究に主体的・協働的に取り組むとともに,互いのよさを生かしながら,新たな価値を創造し,よりよい社会を実現しようとする態度を養う.

科目 日本文化

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
するため、主体的に自己や社会の課題を発見	たり、それらを基に議論したりする力を養う.	とによって、人間としての在り方生き方に対す

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学	き というとうに乗けるわる ごさかに のいて	○「文学の散歩道」 ・事前学習 ・文学の散歩道 (「波浮の港を愛する会」と連携する) ・事後学習 ・発表	【知識・技能】 - 言葉の特徴や使い方 - 情報の扱い方 - 提出物 【思考・判断・表現】 - 調べる力 - 提出物 - 面接 【主体等への取り組む態度】 - 提出物 - 面接 【主体等への取り組み状況 - 提出物 - 面接 ◆単元の具体的な指導目標に即した評価規準 については、別に定める.	0	0	0	23
2 学期		地域ボランティア	【知識・技能】 ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方 ・提出物 【思考・判断・表現】 ・調べる力 ・提出物 ・面接 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業への取り組み状況 ・提出物 ・面接 ・世元の具体的な指導目標に即した評価規準 については、別に定める.	0	0	0	25
3 学 期	【知識及び技能】 ・私たちが暮らす大島の歴史,文化,風土,自然,社会について学習し、地域社会、の理解を深めるとともに、地域社会に関する具体的な知識及び技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】・大島の地域文化の多様性から学んだことをもとにしながら、文化を継承し時代に伝えるために何ができるか考え,表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】・地域ボランティアを通して,大島の地域文化や地域社会の環境問題に対して,興味や関心を抱き,さまざまな課題に積極的に関わろうとしている。	○「御神火太鼓」 ・事前学習 ・練習 ・発表	【知識・技能】 - 言葉の特徴や使い方 - 情報の扱い方 - 提出物 - 調べる力 - 提出物 - 調べる力 - 提出物 - 面接 【主体的に学習に取り組む態度】 - 授業への取り組み状況 - 提出物 - 面接 ◆ 単元の具体的な指導目標に即した評価規準 については、別に定める.	0	0	0	22
							台計 70

年間授業計画 新様式例

科目 文学国語

 高等学校 令和6年度
 教科
 国語
 科

 教料: 国語
 料目: 文学国語
 単位数: 4 単位

 対象学年組:第3学年 A 組~ B 組
 B 組

教科担当者: (A組:須賀) 使用教科書: (高等学校 標準文学国語(第一学習社)

【知 嫌 及 び 技 能 】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を 深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かうカ、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって誘書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文 化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

■ 第一次		,	<u> </u>	4	域					
1 回義の技術を対象である。	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	12 1		iii.	EØ	思	態	
「「知識及び技能」	【知識及で好能】・登場、治療、治療、治療、治療、治療、治療、治療、治療、治療、治療、治療、治療、治療、	<知識表び技能やい方・ ・言情報の表が表がある。 ・言情報の表が表がある。 ・書くこと・ ・表にこと・ ・数科 ・一人1台端末の活用 ・一人1台端末の活用。 単元のの ・一人1台端末の活用。 単元のの ・一人1台端末の活用。 単元のの ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・情景の豊かさや心情の機徹をおす部句の 急を増し、支売の中で使うこと通して、 高潮を参議・語彙を豊かにしている。 ((1) ・ 文学的文章風の技法について、体系的に煙解 ・ 大学的文章風の技法について、体系的に煙解 ・ 「露むこと」において、文章の種類を結 ・ 大変で、大変で、大変で種類を ・ 大変で、大切をや構成、展開、補写の仕方な ・ 「変むこと」において、大変の種類を結 ・ まえて、内容や構成、展開、補写の仕方な ・ 「変むこと」において、大変の種類を結 ・ まえて、内容や構成、展開、補写の仕方な ・ 「変むこと」において、海り事の視点や 補面の設定した。 ・ 「変しことが重して、内容を解表してい ・ 「変換、大変し、 ・ 「変換、大変し、 ・ 一、一、一、一、一、一、一、 ・ 一、一、一、一、一、一、一、一、 ・ 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、 ・ 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、 ・ 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、		0 4		0	0	0	10
	【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特 徴や表現の技法を理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊か にする。 ・記を引き、判断が、表現力等】 ・詩の構成や比喩に注目して窓 ・大きな、というないでは、 「学びに向かう力、人間性等」 ・作品に変れているものの見た。 感じ方、考えを提える方法を学 ぶとともに、作品が成立した背質 ・他の作品となる。	<知識級及び技能やい方・ ・自講集の大力を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	・文学的次文章における文体の特徴や修築		0	0	5	0	0	10
【知識及び技能】 ・簡単における女体の特徴や終粋との表 ・音葉の特権を使い方 ・音楽の情報を使い方 ・音楽の情報を使い方 ・音楽の情報を使い方 ・音楽の情報を使い方 ・音楽の生命を使い、再業を登か にする。 ・思うつ、世界・19 表現の等 ・ は思う力、判断力、表現力等 ・ は思う力、判断力、表現力等 ・ は思うした変雑と、表象の多様性に ・ 数付 ・ とと 大きに 大きに のが見か を強い 大きに 一切いて 秀星している。 (銀行) エール・「露むこと」において、文章の構成や展 開、表現の七万を確注よ、発展の多様を展 「学びに向かう力、人間情報」・ 一人 1 台端末の活用 し 単元 ・ 一人 1 台端末の活用 し 単元 ・ 一人 1 台端末の活用 し 単元 ・ 「変むこと」において、変化した照材に 関本する複数の作品とどを基に、自分のも のの見か、窓じ方、考え方を表える方法を学 たとともに 体のの解析を影響	学 【知識及び技能】 明、丁葉物な文字の種類や特徴について、	《知識及び技能》 「無数及び技能》 「言葉の特徴、方 「言葉の特徴、方 (思書くない。 と思考くなこと ・読数材 漢字ワーク ・人、女性の 大会性の 大 大会性の 大会性の 大会性の 大会性 大会性の 大会性の 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	・情景の豊かさや・情の機器をおす部句の を増し、文庫の中で使うこと語して、 最を増し、文庫の中で使うこと語して、 最高を書きる書から、 「思考・判断・表現」 ・「書きくと」において、文章の構成や膜 は、表現の仕方などについて、毎えないことが伝わるようとかない。なかよからかといっな。 とを整くたり、読み手が合発や課題となどを発生 とで感じてもらいないことが伝わるようを全整えたり、読み手が合発や課題のかどを吟味して、 を整えたり、読み手が合発や課題といいて評 場面の設定の仕がは、表現の特色について評 値音であると、低いはい、一類り事の視点や 増幅の設定の仕が、表現の特色について評 値音であるとを通して、内容を解釈している。 (低)はつ、異似の特色にいている。 (低)はついて評価である。 (低)はついて評価である。 (低)はついて評価である。 (低)はついて評価である。 (低)はついて評価である。 (低)はついて評価である。 (低)は、表現の特色にいいて評価である。 (低)は、表現の特色に対して、内容を解釈している。 (低)は、一般を解析している。 (他)は、一般を解析している。 (他)は、他)は、他)は、他)は、他)は、他)は、他)は、他)は、他)は、他)は、			(22	0		12
	【知識及び技能】 ・応想における文体の特徴や表現 の技法と理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊か にする。 ・担本の伝統文化を強力と変わた文章 ・提供し、 ・提供し、 ・提供し、 ・選供し、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<知義及び技能> ・言情報の特徴、方・言情報の特徴、方・言情報の根が方 く思考、こと・ ・遊数付書、「表現」と・ ・数付き、「表現」と・ ・数付き、「表現」と・ ・大したと、 数件 ○ 一人 1 台端末の活用 し ・一人 1 台端末の活用 し ・ 単元のの	・随想に当ける文体の特徴や修存などの表 現の技法について、保系的に理解を深め使 用している。((1)エ) [思考・判断・表現] ・「読むこと」において、文章の構成や展 順、表現の仕りを踏まえ、解釈の多様性に ついて考覚している。(8(1)エ) ・「読むこと」において、設定した 題材に 関連する機数の作品などを基に、自分のも の見分、感じ、考え方を振り、 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		0	0	55	0	0	8
定期考査 ○ ○ 1	定期考查			٣	_		5	0		1

	変代の及び技能制 種類や特徴(での及び技能制度を関係を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	・指導事項 く知識を分岐がた。 く知識を分岐が方 ・指線・通路を分岐が方 ・指線・通路・対 ・書くて、・書と、・まむ・と ・表がけ ・表サーク ・人1台端末の活用 ・人1台端末の活用 ・人1台端末の活用 ・人1台端末の活用 ・人1台端末の活用 ・人1台端末の活用	知識・技能! 一人間、社会、自然などに対するものの見 ・人間、社会、自然などに対するものの見 大き、考え方を豊かにする諸書の数 大き、考え方を豊かにする諸書の数 大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大	0	0	0	0	0	15
2 学期	報争上文学(1) 中文学のな文様における文体の特殊を表現の技能、おける文体の特殊を表現の技能、おける文体の特殊を表現の技能をで表現の技能をである。 ・我が解析を表現の活路で化の対象 「思考の世界、大変現場を表現の対象 「思考の世界、大変現場を表現の対象 「思考の世界、大変な解析を表現の対象 「中により、内容を解析の多く。」 「中により、大変の対象 「中	・指導事項 く知識及び技能〉、 ・言葉の持機や使い方 ・言葉の持機や使い方 ・言葉の持機や使い方 く思考 ・表して ・表して ・表して ・表して ・表して ・表して ・一人	知識・技能」 ・情景の患かさや心情の機能を束十節句の 最を増し、文章の中で使うことを通して、 (イ) 1 思考、 (1) (イ) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	0	0	0	0	0	13
	現代の小説四 出職族人が接触 ・短線を表現 ・短線を表現 ・短線を表現 ・短線を表現 ・短線を表現 ・短線を表現 ・短線を表現 ・短線を表現 ・短線を表現 ・変 ・変 ・変 ・変 ・変 ・変 ・変 ・変 ・変 ・変 ・変 ・変 ・変	・指導事項 <知識及び技能> ・言葉の対機や使い方 ・言葉の対機や使い方 ・言葉の対機や使い方 ・侵馬大力 ・浸取力 ・浸取力 ・浸取力 ・浸取力 ・浸取力 ・浸取力 ・浸取力 ・浸取	知識・接割・ 大学的・大学の大学の大学の大学の大学的大学の大学の大学の大学の大学についる。((ロン・)・「書く」といる。(「は、」・「書く」と、」において、文学的な文章を書くたかに、選んだ圏村に応じて情報を記している。(4(1)カー・「設定」と、」において、作品の内容や解・「設定」と、」において、作品の内容や解・大学語を入り、側、社会、自然などがある。(4(1)カー・大学の大学語を対し、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	0	0	0	0	0	14
	近代の及び技能! (知度が成功を) では、	・指導事項 ・指導事項 ・指導事項 ・知識を砂性後、、 ・ 自動をの報い方 ・ 情報等 ・ 情報等 ・ 音楽の表 ・ 選挙の表	「知識・技能」 ・人間、社会、自然などに対するものの見 ・人間、社会、自然などに対するものの見 が、感じか、考え方を豊かにする読書の窓 軽と効用について連絡を提出でいる。 (2男子、明郎、泰則) ・「書もてと」において、作品に表れてい もものの見方、感じ方、考え方を投えせている。 (4(1) イ) ・「読むこと」において、作品に表れてい さものの見方、感じ方、考え方を投えせてい さもに、作品が成立した背景を他の代品な どとの関係を踏まえ、作品の解形を深めて しま。(8(1) 1) 中で整場人物の発音の表言から、登場人物の考えの違いを貼り強く読み 取ろうとしている。	0	0	0	0	0	19

	近代の許 近代の許 近代の許 近、空等の化文、東京、自計する文体の特 電や表現の技工を記しません。 ・我が展現の自己部立ての特別で、 ・我が展現の自己部立ての特別で、 に思え前が描せら出す、イン・ が、また、日本ので、 が、また、日本ので、 の特別で、 のもの、 のもの、 のの、 のの、 のの、 のの、 のの、	・指導事項 任務・ ・ 知識を使い方 ・ 知識を受けません。 ・ 知識を対しません。 ・ 表現 > ・ 表現 > ・ 表記を対した。 ・ まままれる。 ・ まままれる。 ・ ままままれる。 ・ ままままれる。 ・ ままままれる。 ・ まままままる。 ・ ままままる。 ・ まままる。 ・ まままる。 ・ ままままる。 ・ ままままる。 ・ まままる。 ・ まままるる。 まままるる。 ・ まままるる。 まままるる。 ・ まままるる。 まままるる。 まままるる。 まままるるる。 まままるる。 まままるる。 まままるる。 まままるるる。 まままるるる。 まままるるる。 まままるる。 ままるるるるるる。 ままるるるるるる。 ままるるるるるるるる	【知識・技能】 ・ 文学的文文章を読むことを通して、我が 図の言語がなの特質について無極を深めて ・ 128名・制料・表現】 ・ 「読むこと」において、文章の権類を語 まえて、内容や構成、展開、語写の仕方な ・ 「読むこと」において、英章の権類を語 まえて、内容や構成、展開、語写の仕方な ・ 「読むこと」において、語り手の視点や ・ 「読むこと」において、語り手の視点や ・ 「記むこと」において、語り手の視点や ・ 「記むこと」において、語り手の視点や ・ 「記むこと」において、語りまの現点をしてい ・ (国) (で) (こ) (本) (こ) (本) (こ) (本) (こ) (こ) (こ) (こ) (本) (こ) (本) (こ) (本) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ	0	0	0	0	0	6
3	現代知代技能と 現代知識を対策を 通知調楽的な文本の に、文学の対象を は、文学の対象を は、文学の対象を は、文学の対象を は、文学の対象を は、文学の対象を は、文学の表の、対象を は、文学の表の、対象を は、文学の表の、対象を は、文学の表の、対象を は、文学の表の、対象を は、主人会える。 の、大学の会の、が、大学ので、ないたを は、主人会える。 の、は、主人会える。 の、は、主人会える。 の、は、主人会える。 の、は、主人会える。 の、は、主人会える。 の、は、主人会える。 の、は、主人会える。 の、は、主人会える。 の、は、主人会える。 の、に、が、のを は、また、大学の、に、たいたを との方と にがない。 は、考え、大きな、との方、 のの方と は、考え、大きな、と、 に、また、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	・指導事項 ・指導事項 ・加減数の特徴や使い方 ・一言家の特徴や使い方 ・一言家の特徴や扱い方 を思考・判断 ・と思考・判断 ・表現 > ・遊むこと ・遊むこと ・変材・歳子ワーク ・一人1台線末の活用し、単元の 内容について論述する。	振調・技能 ・ ・	0	0	0	0	0	14
学期	戦争と文学口 【知識のなり、 開発のという。 「記述のないでは、 「記述のできる。 「というでは、 「記述のできる。 「記述のできる。 「というできる。 「と、 「と、 「と、 「と、 「と、 「と、 「と、 「と、 「と、 「と、	・指導事項 ・指導事項 く知識を使じ、方 ・指標等では、対 ・指標等 ・指標等 ・活動を ・選挙	【知識・技能】 自然などに対するものの見か、人間、社会、自然などに対するものの見が、感じ方、考え方を豊かにする読書の意と、効用について無縁を深めている。 (ロ)イ 制用、表現1、工事、本理1、工事、本理1、工事、本であた。 (現在) 大工事と、大型によいことを明確にしている。 (4(1) たいことを明確にしている。 (4(1) たいことを明確にしている。 (4(1) 本) 大型に関するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 (4(1) 本) 本) 大型に関するというという。 (4(1) 本)	0	0	0	0	0	8
	創作をする 【知識及び抜き】 ・文体や表現免技法に注意して、 大物の心情や投展を指写する方法 を学ぶ。の意義と効用を理解する。 【思考師が力、表現功等法を の意義と効用を理解する。 【思考師が力、表現功等法を の事が見に正意しながら物語】 ・設定した題材に関連する複単で (学びに向かり、人間性で複取方。 に選びにからが語り、 ・設定した題材に関連する複功方。 の意と表に表現ない。 の意の姿勢を奏	・指導事項 <知識及び経) ・ 言葉の神骸や使い方 ・ 言葉の神骸や使い方 ・ 言葉の神骸や使い方 ・ 信傷の 見い方。表現 ・ こまくこと ・ ご数がま ・ こまなこと ・ こまなこと ・ こまなこと ・ こまなこと ・ こまなこと ・ こまなこと ・ こまない。 こま	知識・技能] 写像に、 地像や心様を豊かに十る働きが あることを無解している。 ((1)ア) 工思考・制御・表現]、 「書きくとりにおいて、文章の構成や展 国、表現の七などについて、伝えないことや感じてもらいたいことが伝わるように本がない。 (2) 大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	0	0	0	0	0	8
	定期考查					0	0		1 合計

合計 140

高等学校 令和6年度 教科 国語 科目 論文演習

科 目: 論文演習 単位数: 2 単位 教 科:国語

対象学年組:第 3 学年 A 組 教科担当者:(A組:竹内聖人)

使用教科書: 国語表現(大修館)、ステップアップ小論文(第一学習社)

の目標:

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自 覚や態度を養う。

科目 論文演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
取ったり、話し合ったりして、自分の考えを	相手や目的, 意図に応じた適切かつ効果的な 表現による文章を書き, 自分の考えを深め, 発展させている。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、 国語を尊重してその向上を図ろうとしてい る。	

	単元の具体的な指導目標	华道 佰日• 内穴		領垣	ţ	評価規準	4π	思	能	配当
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		話・聞	書	読		М	心	忠	時数
1	A 単元 小論文とは何か 【知識及び特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深め特徴、構成を展開のしかたなどについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現武等】「書くこと」において、適切な開を効果的に入るよう、連切を関係を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】小論文を感想文の違い心をもち、、か論文を書くことしている。	・教材		0	0	【知識・技能】 小論文とは何かを理解し、適切な構成や展開のしかたなどの基本的な書き方を身につけている。 【思考・判断・表現】 テーマに応じて理由や根拠を明確にし、筋道を立てながら小論文を書き、推蔵して内容を確かめている。 】【主体的に学習に取り組む態度】 小論文の執筆に強い関心をもち、よりよい小論文を書くために、基本的な構成を意欲的に学び取ろうとしている。	0	0	0	5
期	B 単元 反論を想定して書きく 【思考力失知を想定して書きる。 「思考力、知言と」。 ・「書くと」。 ・意図吟味して、続えたいて、 ・「書くにして、伝えたいて、適切にして、伝えたいで、 ・「書くよりにおいて、適切にまないで、 ・「書くまりになら、ないで、 ・「書くまりになら、 ・「書くまりになら、 ・「書くまりになら、 ・「書くまりになら、 ・「声がなどを想定して論様のや展開をまた。 「というのからから、 、得力を高地をしている。 「学びに地向から力、、得力を高めた、 ・「論欲的に取り組むらとしている。	 ・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 		0	0	【思考・判断・表現】 ○できるだけ多く考えた理由から取捨選択して説得力があるかどうかを吟味し、自分の意見を明確に伝えている。 ○自分の意見と対立する意見とともに理由が明示されており、適切な五段落構成で筋道を立てて説得力のある小論文を書き、推厳して内容を正している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○小論文の執筆に強い関心をもち、より説得力のある小論文を書くために、対立する意見の想定や五段落構成の工夫などを意欲的に学び取ろうとしている。	0	0	0	5

_	II. W	To the Wholes of	_							
1学期	る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・効果的な自己PRをすることに 興味をもち、意欲的に取り組もう としている。	 ・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等 	0	0	0	【思考・判断・表現】 ○効果的な自己PRをする目的に応じて、自分に関わる事柄の中から適切な話題を判断して情報を収集、整理し、原稿を書きながら発表に向けた思考を深めている。 ○発表内容が効果的に伝わるように、自己PRの冒頭や厳選した具体例を効果的に配置して話の構成や端的な表現を工夫し、適切な声の大きさや抑揚、速さで発表している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○進学や就職の面接に生かすという目的をしっかりと意識しながら、印象に残る自己PRができるように意欲的に取り組もうとして	0	0	0	10
	D単元 文章を読み取って書く 【思考力、判断力、表現力等】・「書くこと」において、た文情を断力、表現の等別の範疇を応じて、読み取っため、で変旨からです。 一、「書くこと」に読み取っため、で変旨からです。 の知み合とを明において、変した。 ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	 ・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等 		0	0	【思考・判断・表現】 ○課題文の内容を正確に把握し、その要旨を きたとまとめて、伝えたいことを明確に書 いている。 ○適切な構成メモに沿って、具体例を効果的 に配置し、文章の構成や展開を工夫して書い ている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○課題文を正確に読み取って内容を要約し、 それに対する自分の意見を効果的に論じることに関心をもって熱心に取り組もうとしている。	0	0	0	10
2 学期	E単元 統計資料を読み取って書く 【思考力、判断力、表現力等】・「書くこと」において、目続いない、目に応じて、読み取った統計報の 料から適切などを明を上していて、ないて、自然では、自然では、自然では、自然では、自然では、自然では、自然では、自然では	 ・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等 		0	0	【思考・判断・表現】 ○統計資料の内容を正確に読み取り、その分析をきちんとまとめて、伝えたいことを明確に書いている。 ○統計資料から適切な根拠となる情報を取り出して的確に説明し、構成や表現のしかたを工夫して書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○統計資料を正確に読み取って分析し、視点を整理して自分の意見を効果的に論じることに関心をもって熱心に取り組もうとしている。	0	0	0	15

	F単元 発想を広げて書く 【思考力、判断力、表現力等】・「書くこと」において、またかのの方法を理解し、情報の組みいことがなどを工夫して、、これでにしている。・「言言が得られるさと、、発切ない、発切ない、を明確にしている。・「同意ととを別をなどをとと展開をなどをとと展開をなどをとと展開をなどをとと展開をなどをがあまた。」、「書が代表、との情報が、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	 指導事項 教材 一人1台端末の活用 	等		0	0	【思考・判断・表現】 ○指示された発想法を適切に用い、豊かな発想によるメモやグループ表を作っている。 ○発想メモやグループ表を有効に用い、広げた発想を構成に活用して筋道を立て、逆転の発想で思いついたことは対立意見として用いて書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○さまざまな発想法と、発想法による小論文の執筆に強い関心をもって熱心に取り組むうとしている。	
3 学期	G単元 建設的な議論の進め方 【思考力、判断力、表現力等】 ・「話すとり」におきしまりはある。 と比較しながら間とさら合うななだけたり深めたりし聞くのる。 と比較しながら明しなる。」におり深めたりし聞くこととがである。 ・「話したりでいる。と」にお談けて、話したりでは、は、 ・「話したいののでは、 ・「話ししいて、 ・「は、話している。」とは議論の出したりにしている。 をしたにしている。人間性等】 したりびにいる。 【学びし合いをも、意欲的に取り組 ・ 該典味をもち、。	 ・指導事項 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 	等	0	0	0	【思考・判断・表現】 ○話し合いのステップを正しく判断しながら 積極的に参加し、聞き取った情報を適切に吟 味して自分の考えを広げたり深めたりしてい る。 ○多様な角度から意見を出し合ってメリッ ト・デメリットを吟味し、話し合いの目的に 応じた結論の出し方について工夫したり積極 的に批評したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○話し合いの目的を正しく理解して意欲的に 議論に参加し、積極的に意見を述べたり、他 者の意見を尊重しながら結論を導こうとして いる。	
							行 70	-

 高等学校 令和6年度
 教科
 国語
 科目
 論理国語

 教 科: 国語
 科 目: 論理国語
 単位数: 2 単位

 対象学年組: 第 3 学年 A 組~ B 組

対象学年組:第 3 学年 A 組~ B 組

教科担当者: (A発展組: 竹内) (A標準組: 須賀) (B発展組: 竹内) (B標準組: 須賀)

使用教科書: (論理国語 (大修館書店))

の目標: 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で正確に理解し効果的に表現する資質・能力を 育成することを目指す。 教科 国語

【知識及び技能と生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚や態度を 養う。

科目 論理国語 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
るようにする。	に、創造的に考える力を養い、他者との関わ	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって誘書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標 1 自己と他者 【知識及び技能】 ・筆者の発想のしかたや論の展 の特徴を読み取る。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「贈り物」についての筆者の 張をふまえて、自己と他者につ て考える。	指導項目・内容 ・指導事項 <知識及び技能> 引・言葉の特徴や使い方・情報の扱い方表現シースの表別の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の	評価規準 【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章	語明	書	読	知	思	態	配当 時数
【知識及び技能】・筆者の発想のしかたや論の展 の特徴を読み取る。 【思考力・判断力・表現力等】・「贈り物」についての筆者の 張をふまえて、自己と他者につ て考える。	<知識及び技能> ・言葉の特徴や使い方 ・情報の扱い方	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだ			-				
【主体的に学習に取り組む態度・一般的な解釈と、筆者の解釈 ・一般的な解釈と、筆者の解釈 違いを意識しつつ、粘り強く の主張をとらえようとする。	・書くこと・読むこと・数材教科書、漢字ワーク・一人1 台端末の活用	サウスにめに必要は語して、監感を磨き語彙を豊かにしている。[(1) イ] 【思考・判断・表現】・「読むことを通して、監感を磨きいる。」(1) イ] 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論なを明確にしながら要旨を把握している。 [B (1) ア]・「読むこと」において、人間、社会を多様なな論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 [B (1) カ] 【主体的に学習に取り組む態度】・学習課題に沿って、一般的な解釈と、筆者の解釈の違いを意識しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。		0	0	0	0	0	9
2 コミュニケーションの手段 【知識及び技能】・対比的な概念を的確にとらえ 筆者の主張をつかむ。 【思考力・判断力・表現力等】・コミュニケーションの手段との特徴についてうえ、人間しつかうえ、人間との対して向から対して対し、り強く筆者の主張をとらえようする。	- 情報の扱い方 <	【知識・技能】・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の基を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】・「読むこと」において、主張を支える根拠や結婚を導導は他信頼性を吟味して内容を解釈している。 [B(1)ウ]・「読むこと」において、人間、社会、多様な能についる。を解釈している。を解釈している。を解釈している。 (Bがこと)」において、入間、社会、身後、ないなについなの値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 [B(1)カ] 【主体的に学習に取り組む態度】・学習課題に沿って、対比や具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。		0	0	0	0	0	6
定期考査						0	0		1
3 メディアの変容 【知識及び技能】・筆者のは大認識と問題意識を確にとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】・メディアの現状と課題、るる。 【学びに向かう力、人間性等】・実際の社会状況を意識しつつよ おり強く筆者の主張をとらえよ	 情報の扱い方 (思考・判断・表現> 書くこと 読むこと 教材書、漢字ワーク 	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ] 【思考・判断・表現】・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や日ののを考えながら、内容の解釈を深めている。[B(1)・「読むこと」において、大間、社会、依などについて、文章の内容や付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。[B(1)カ] 【主体的に学習に取り組む態度】・学習課題にかって、実際の社会状况を意識しつつ、私り強く筆者の主張をとらえようとしている。		0	0	0	0	0	6
定期考査				1		0	0		1

	4 言語の探究 【知識及び技能】 ・根拠に注目しながら、筆者の主 張を読み取る。 一日本語の特徴について考え、言 業に対する理解を深める。 【主体的に学型に取り組む態度】 ・本文中の根拠に注目しつつ、 り強く筆者の主張をとらえようと する。	・指導事項 <知識及び技能> ・言葉の特徴や使い方 ・情報・判し、 ・書書・「とと・教材・主法・こと・教材・主法・主と・・教材・主、漢字ワーク ・一人1台端末の活用ー、単元の内容について論述する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、東き語彙を豊かに必要な語句の重を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1) イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討して内容を解釈している。 [8 (1) ウ]・「読むこと」において、人間、社会、身体を解釈となる価をがでいって、新たな能点かどについて、文章の内容や解釈を多様な総のとにない。 [8 (1) カ] 【主体的に学習に取り組む態度】・学習課題に沿って、本文中の根拠に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	0	0	0	0	0	8
2 学期	5 政治と社会 【知識及び技能】・ ・筆者が指する問題点や代替案 ・筆者が指り、実現力等】・ を読み取り、判断力くみに更考表の表 、主意思決定度のあり方。社会制度で ・ 5、社会制度で開意に取り組む態度】 ・ 生業者の問題意識をとしえよう とする。	・指導事項 <知識類の対策能> ・情報のでは、方・情報のでは、方・情報のでは、方・情報のでは、方・情報のでは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、石子子の中で使うことをとおして、日本学術・大学の中で使うにしている。 [(1) イ] 【思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を必らをでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	0	0	0	0	0	10
	定期考査					0	0		1
	6 存在への問い 【知識及び技能】 ・具体的法則と抽象論との関係 ・具体的法則と抽象論との関係 ・是もえる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者の身体観を前に試み取 り、変める。 【空中的に学習に取り組む態度】 ・花改めて見つめ直すことに興味・ 関心をもつ。	・指導事項 <知識及び技能> ・情報及び技能> ・情報の検い方 ・情報の特別方 そ思考ことと ・教科書、ことと ・教科書、漢字ワーク ・一人1台端末の活用し、単元の内 容について論述する。	【知識・技能】・使用されている語句の定義を確認しつつ理解を深めている。 [(1) イ]・文や文章の接続の仕方や構成をとらえ、論の形式について理解を深めている。 [(1) ヴ, エ]・情報とうしの関係づけのしかたについて理解している。 [(2) イ] 【思考・判断・表現】・「読むこと」において、今考えられることとの関係をとらえている。 [B(1)イ、・「読むこと」において、筆者の思考をとして」・「読むこと」においる。 [B(1) イ、・「読むこと」においる。 [B(1) イ、・「・「・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「・」・「・	0	0	0	0	0	10
	定期考査				l	0	0		1

	7 環境へのまなざし 【知識及び技能】 ・集体例との関係に注意しながら 等者の主張をとらえる。 【思考力、無判断力、表現力会との関係について考えを深り組む態度】 ・生物多様性と文化や社る。 【にこかて考習に取り組む態度】 ・具本的と論の関係に注目しつ、 大きがのような。 、まりなる。 、まりなる。	・情報の扱い方 ・情報の扱い方 ・思考・判断・表現 > ・書くこと ・読むこと ・教科書、漢字ワーク ・一人 1 台端末の活用	【知識・技能】・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増しを磨き 中で使うことをとおして、文章の種類を多いまえて、内容・構成、論理の展開などを的確にといる。 $[B(1)7]$ 【思考・判断・長邦)・「記むこと」において、文章の種類を必まえて、内容や構成、論確にしながら要旨を出握している。 $[B(1)7]$ 設定した題材に関連する複数の文章や資分の表した題材に関連する複関係がより、「おいで料を考えを広げたりに学習に取ります。	0	0	0	0	0	8
3 学期	8 歴史と時間 【知識及び技能】・ 筆者の思索の流れや論の展開の しかたをとらえた。 【思考力、判断力、表現力等】・ 「美」「歴史」「解釈」などに 「美」「一の大きなで深める。度 「分ので表えを深める。度 【主筆者の思なった。」 「主筆者の思なった。」 「表」「一ついて、自分の考えを深めようとする。	・読むこと・教材教科書、漢字ワーク・一人1台端末の活用	【知識・技能】・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1) イ] 【思考・以下、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。[B(1) オ] 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を新たな観点から自分の考えを深めている。[B(1) 1 上海・大な観点が、1 日本体観点が、1 日本体に対している。	0	0	0	0	0	8
	定期考査					0	0		1
			•				•	•	合計
									70

週ごとの指導計画(単元指導計画) 新様式例

 教科
 数学
 科目 数学B

 (学B)
 単位数: 2 単位
 高等学校 令和6年度

教 科: 数学 科 目: 数学B

対象学年組:第 3 学年 A組、B組

教科担当者: A組: 大井健一郎、B組: 西山大介 使用教科書: (数学B Standard 東京書籍) 使用教材: (数学B WRITE

教科の目標:

【知識、技能等】 基本的な概念・原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に着けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を養う。

【学びに向かうカ、人間性等】 数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

科目 数学B の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学		・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
【知識・技能】 ・標本調査に関する意義を認識し、 基本的な性質や抽出方法、用語など	指導事項 1節 ①母集団と標本 2前 ①確率分布 ②確率変数の平均と分散の 性質 ③確率変数の和と積 ④二項分布	②章 統計的な数推測 【知識・技能】 「標本調査に関する意義を認識し、基本的な性質な。 ・標本調査に関する意義を認識し、基本的な性質なる。 ・確率変数や確率分布の意味を理解し、確率分布を求めることができる。 ・確率変数の和の平均や、独立な確率変数の可能、対している。 【思考・判断・表現】 ・Xの即が表現】 ・Xの即が表現】 ・Xの即が表現】 ・Xの即が表現」 ・Xの即が表現がで表される確率変数について考察なることができる。 ・二項分確率のが数やの平均に必のようなのに、対している。・ことで、確定設するとができる。・ことで、確定設するとができる。・ことで、確定設するとができる。・ことで、確定設するとができる。・ことで、確定設するようにである。・ことで、確定設するようにである。・ことで、を表したので表現を対してあるを表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表現が表	0	0	0	10
学 定期考査			0	0		1
2 章 統計能】 ・ 東京	指導事項 3節 ①正規分布 4節 ①母平均の推定 ②仮説検定	2章 統計的な数推測 【知識・技能】 ・連続分布について理解し、その確率を求めることができる。 ・正規分布に従うときの確率を求めることができる。 ・二項分布を正規分布で近似して確率を求める ・と事態できる。 ・登事値分析を活用して母野の平均や分散、母標を表したのできる。 ・母集団分布を活用して母野の平均や分散、一般の正規分布を活用して母野の平均や分散、一般の正規分布を活用を表現といることができる。 【一般の正規分布を護期することができる。 長期分布に従り上率に関する仮説検定を行いがきる。 ・母平均や母を説明することができない。 ・母のでは現分布を護期するに対している。 ・母の情頼を引き想について判断することができないできる。 「主体的に学習に取り組む態度】 ・信頼度95%の信頼区間とついて考えようとして、 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	0	0	0	10

	<u></u>						
2 学期	の和の求め方について具体的に考。 察することができるように能態度 ・一をおいた学習ないにして大きなり、 ・一定の数を放々ににして考えという規則をにして考え、得等の一般を養を次々にはして考え、 を別の一般を養を次々に掛けて「考え、得等の力を変を放めませいで、別報ではいて考え、 ・一との別の一般を養う。 ・一との規領を養う。 ・一との規領を養う。 ・一との規範を養う。 ・世が表現の一般を養う。 ・問題解的、一般を養う。 ・問題深めたり、態度を養う。	③等差数列の和 ④等比数列 ⑤等比数列の和	1 章 数列 【知能・技能】 ・般なら数列の各項を求めたり、数列き ・等を数列の各項を求めたり、数列き ・等差数列の各項を求めたり、という。 ・等差数列の各項を求めたり、という。 ・等差数列の各項を求めたり、という。 ・等差数列を求めたり、のという。 ・等と数列を現っての一般項までの和を求めたり、できる。 ・等比数列の各項いて第 n。 ・等比数列の各項いできる。 ・等比数列の各項いできる。 し、力を強力を求めたり、のないので、のないので、のないので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、の	0	0	0	18
	定期考査			0	0		1

和る・をこ・漸こ【・号をき・変が・質で【・るを見る断でにてすたよう納不に学列職う場所が出てが考を用が化式が考を用い用い用うられる的式、うに数認よ論を外のでは、一般を主事よ活数を開かれる的なで、一般を主要が、質で【・るをえる与形で数やき主事よ活数を開始と開発して、一般を表す。という過れるのは、一般を表す。	(的な代表) () () () () () () () () () (指導事項 (1) 数列の (2) (2) (3) (3) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	ろな数列	1 章 数外 【知識・技能】 ・	0	0	0	17
定期考査					0	0		1
総合演習 3 学 期 定期考査		の確認	~	・統計的な推測、数列について基本の概念 を理解し、定理等を活用できる。 ・発展問題に取り組む中で、解決の過程を 援り返って考察を深めたり、評価・改善し たりしようとしている。	0	0	0	10
								1 合計
								70

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーション皿

単位数: 4 単位 科 目: 英語コミュニケーションⅢ 教 科: 外国語

対象学年組:第 3 学年 A 組~ B 組

(標準:大橋) (組:)(組:)(組:)(組: 教科担当者: (発展:横戸)

使用教科書: (LANDMARK Fit English Communication 皿 (啓林館) 、同ワークブック、TAGAKI Advanced 1 (mpi))

教科 外国語

の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、目的や場面、状況などに 応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝えあったりすることができる力を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ションにおいて活用できる知識・技能を身に 付けている。	会的な話題について、情報や考えなどを外国 語で的確に理解したり適切に伝え合ったりし	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き 手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだ りしたことを活用して自分の意見や考えなどを 話したり書いたりして表現しようとしている。

					領垣	ŧ						
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	話[や]		書	評価規準	知	思	態	配当時数
学	所・自的・状況などに応じて、、、 目情常的・社会的な話題に否いて、 情報や考えなどを外国に活で的確しして、 といる。	・指導す項域について一定の支援 (1) 関係でしている。 (1) 関情襲や 要のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	0	0	0	0		【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の 4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を 身に活いて活用できる知識・技能を 身に行けている。 外国を選を通して、、言語の働きをや役割などを発している。。 【思考力、の指導事項について常め、どを合っ な話題にでは、情報のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	0		0	27
									0	0		1

国語の4技能について、実際のコミュニケーションで活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して、いる。 外国語の学習を通りして、いる。 【思考力、判断事項について、、目のが記録について、、計算のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	る。 (2) 読むこと 必要な情報を読み取り,文章の 開、概要や要点などを把握する。 (3) 話すこと「やり取り」 ・	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を 身に付けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項について、場所・会別の指導事項に応じて、自常などを分かれて、情報の当に伝え合うのは、一般の対象について、情報の当時でいる。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマ別の指導語の手・話し手いて、他者をきまのの指導語の手手・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		0	0	27
正期 考查								0	0		1
国語の4技について、実際のコで、実際活用い、 (東京活用い) (東京活用い) (東京活用い) (東京活用い) (東京活用い) (東京活用い) (東京活用に) (東京活用に) (東京活用に) (東京活用) (東京活	る。 (2) 読むこと と要な情報を読み取り,文章のる。 (3) 証がなどを把握する。 (3) 話がなどを把握する。 (3) 話がいて、行うないで、一般ないで、一般ないで、一般ないで、一般ないで、一般などを表えなどを論理性に、一般ないで、一般などで、一般ないで、一般などで、一般ないないで、一般ないで、一般ないで、一般ないで、一般ないで、一般ないで、一般ないで、一般ないで、一般ないで、一般ないで、一般ないで、一般ないで、一般ないで、一般ないで、一般ないで、一般ないないで、一般ないないで、一般ないないで、一般ないないで、一般ないないで、一般ないないないで、一般ないないないで、一般ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の 4技能について、実開できる知識・技能を 対して、実開できる知識・技能を 身に付けている。 外国語を理解して、、言語の働きや役 別の指導事項にいる。 【思考中別のなどに応い、情報のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	0	0	0	27
定期考査								0	0		1

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科外国語 科目 英語発展演習

教 科: 外国語 科 目: 英語発展演習 単位数: 4 単位

対象学年組:第 3 学年 選択 教科担当者: (小野)

使用教科書:(LANDMARK Fit English Communication III (啓林館)) 使用教材: (CNN Workbook Extended Course 2023 (朝日出版社))

> 【新課程対応】共通テストドリル英語リーディング 10 minutes [改訂第3版] (Z-KAI)) 【新課程対応】共通テストドリル英語リスニング 10 minutes [改訂第3版](Z-KAI)

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝えあったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする
態度を養う。

科目 英語発展演習 の目標:

					領垣	ŧ						
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	置	読	湖 [卆]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	配当時数
	A 単元 第1報の 第1知識及び技化】 物料である 第1知識及び技化】 物料でしまな がした。 第1知識を が技化である がした。 第1の 第1の 第1の 第1の 第1の 第1の 第1の 第1の 第1の 第1の	メモや告知の読み取り	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 教材別・デセマ別の指導事項について、外国語の4技能について、実際さる知識を持能について、主がと対して、活って、主がと対して、活動では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	0	0	0	25
1	定期考査								0	0		1
学期	B 単元 第 1 知識及び技化】	・身近な資料の読み取り	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 教材別・テナマ別の指導事項について、 外国語の4枚能について、実際のコミュ ニケルであります。 三かりはではいる。 「世界のはではいる。 「世界のはではいる。 「世界のはではいる。 「世界のはではいる。 「世界のはではいる。 「世界のはではいる。 「世界のはではいる。 「世界のはなどいで、「情報適 はいる。 「中ではいる。 「大きな外国的な話題に応じて、「中でであるといる。 「大きな外国といる。 「大きな外国といる。 「大きな外国といる。 「大きな外国といる。 「大きな外国といる。 「大きないる。」 「大きないる。 「大きないる。 「大きないる。」 「大きないる。 「大きないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるな	0	0	0	30
	定期考査								0	0		1

	C 単元 第3章 【知識及び技能】 教材別・テーマ別の指導事項について、いく 外国語の4技能について、いけいで、 実際の田できるという。 ではている。習をという。 という。 という。 という。 という。 という。 という。 という。	・教材別の指導事項 1) CNN Workbook Surprising Jedgement Art amid War Marks of the Past Time to Stop 2) 共通テストリーディング ・意見文の読み取り 3) 共通テストリスニング ・短い対話の関き取り(イラスト) 対話の聞き取り	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 教材別・テーマ別の指導事項について、 外国語の4技能について、実際のコミュ ニケーションにおいて活用できる知識・技能を身にでする。言語の働きや役割などを理解している。 書語の場合でです解している。 【思考力・テウ・状況ないの日常等」では、 場所・社会的知識にでは、 ものなどのは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	0	0	0	30
2 学	定期考査	数补加小板等单位						[len 200, TL - y v ++ - 34 · V	0	0		1
期	■ 単元 第4章 「知識及び技化】 数が・ティット がで、のコできって、いたりにある。 でいて、いたりにある。 でいて、いたりにある。 でいて、いたりにある。 でいて、いたりにある。 でいて、いたりにある。 でいて、いてののできる。 でいるのでは、でいて、でいて、いてが、でいて、でいて、でいて、でいて、でいるののができる。 でいるのでは、でいて、でいて、でいて、でいて、でいて、でいて、でいて、でいて、でいて、でいて	・教材別の指導事項 1) CNN Workbook Not His after All A Shocking Statistic A Noble Gesture Handy Helpers サ通デストリーディング 日常の出来事の読み取り レポートや資料の読み取り サ通デストリスニング ・短次対話の聞き取り ・複数の説明の聞き取り	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 勢材別の指導事項について、 外知国語の技能について、実際さる知識・ 外知国語の対比において活用できる知識・ 大性能を身に付けている。 「書語の働きや役 制などを理解している。 「思別か・戸かし、人間等事項について、 場所・自会的な話題的確にで、「信報・ も会外国語でして、「信報・ も会外国語でして、「信報・ ものなどい理解したりりな話題的などいの理解したりりな話題的な話題のは を外国に、「信報・ を外国に、「信報・ 一、大のなどいのでは、 一、大のないに、「 一、大のなどいのでは、 一、大のなどいのでは、 一、大のなどのなどのは、 一、大のなどのでは、 一、大のなが、 一	0	0	0	30
	定期考査								0	0		1
3 学期	正 第 元 第 五 章	・教材別の指導事項 1) CNN Workbook Action or Extinction A Bold New Plan Exposed Again Making an Impact 2) 共通テストリーディング 右記や物語文の読み取り 3 共通テストリスニング 講義の聞き取り	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 教材別・デーマ別の指導事項について、主 外国語の4技能について、実際のコミュ ニケをといて、実際の名はかにおいて活 この4女はことにおいて活。 言語の働きや役割などを理解している。 書話を理解している。 「思別か、表現力等」 教材所・景のなどを明断力、表現事につい日常等につい日常等がなどを外国語では、は、 「思別か・デートのなどでは、は、では、 撮別が、自動が、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	0	0	0	20
	定期考査								0	0		1

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 外国語 科目 英語文法演習

単位数: 2 単位 教 科: 外国語 科 目: 英語文法演習

対象学年組:第 3 学年 選択 教科担当者: (横戸)

使用教科書: (Next Stage英文法·語法問題4th Edition (桐原書店)

(Next Stage Best Trainer (桐原書店))

教科 外国語

の目標:

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。

)

【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝えあったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

の目標: 科目 英語文法演習

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴やきまりを理解すると共にコミュ	論理性に注意して読んだり、明快な文章を書	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断 力、表現力等を身に着けたりすることに向け た粘り強い取り組みを行う。

				-	領域	t						
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	話[や]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学期	A 単元 第9章 代名詞 第10章 代格詞 各る。 【特係 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日本 日期 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	· 指導事項 代名詞 関係詞 · 教材 教科書、補助教材(Next Stage Best Trainer, NextStage英文法語 法)		0			0	【知識・技能】 関する事項として、発育の決まりに関する事項として、発育の決まりに関する事項として、発育を設定して、発育を表現として、発育を表現という。 「思考・判断・表現」できる。 「思考・判断・表現」では関いできる。 「思考・判断・表現」では関いである。 「思考・判断・表現」では関いである。 「思考・判断・表現」では関連を表したが、表現が表して、の考えなどを必要を的体を対して、表現である。 「全球を対して、などを対して、などをでは、などをでは、などをである。」 「主体的には、などをでは、などをでは、などをでは、などをでは、などをでは、などをでは、などをでは、などをでは、などをでは、などをでは、などをでは、などをでは、などをでは、といい、などのでは、ままり、ままり、ままり、ままり、ままり、ままり、ままり、ままり、ままり、まま	0	0	0	10
	定期考査								0	0		1

第第 各る【各書英共面技【各書論なる【各能力こ行	2章 接続詞 2章 接続詞 3章 主語と動詞の一致 4元についてを目標として、 3章 主語と動詞の一致 4元について、域に理を用いて、域に理を用いて、域に理を用いて、ではいつのましても、の後のでは、一次では、1年では、1年では、1年では、1年では、1年では、1年では、1年では、1年	・指導事項 接続詞 前置詞 主語と動詞の一致 ・教材書、補助教材(Next Stage Best Trainer, NextStage英文法語法)	0	0	【知識・技能】 英語の決まりに関する事項として、発育、句切として、現実的に関する事項と関連語及び慣用表現、適時を対して、できる。 【思考・判断・表現】①関いできる。 【思考・判断・表現】①関いできる。分別では、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、10、	0	0	0	10
定其	閉考査					0	0		1

C 単元 第17章 動詞の語法 各る。 【指導事項のでは、以下では、 「大きなでは、大きなでは、 「大きなでは、 「大きなでは、 「大きなでは、 「大きなでは、 「大きなでは、 「大きなでは、 「大きなでは、 「大きなでは、 「大きなでは、 「大きなが、 「たっと、 「大きなが、 「大きなが、 「大きなが、 「大きなが、 「大きなが、 「大きなが、 「大きなが、 「大きなが、 「大きなが、 「大きなが、 「大きなが、 「大きなが、 「大きなが、 「大きなが、 「大きなが、 「大きなが、 「たっなが、 「大きなが、 「大きなが、 「たっなが、 「たっなが、 「たっなが、 「たっなが、 「なが、 「なが、 「なが、 「なが、 「なが、 「なが、 「なが、 「	教科書、補助教材(Next Stage Best Trainer, NextStage英文法語法) いっていまると 行うきる 等していい。明快 ていい。 等したいい。 またいい。 またいいい。 またいいい。 またいいいいいいいいいい		0	【知識・技能】 英語の決まりに関する事項として、現 意語の記述、語・連語及び慣し用表現、適 可認識法、語をで立法事項を知り、 意言、句式を開始した情報の中からら 文を表して、 、	0	0	0	16
2 学期 第18章 形容詞の語・副語・副語・副語・副語・財ニの語・副語・財ニの語・副語・財ニの語・関・第19章 名の記して、「一、「一、「一、「一、「一、」」、「一、「一、」」、「一、」」、「一、」、「、「、」、「、「、」、「、」	標とす ・教材 教科書、補助教材(Next Stage Best Trainer, NextStage英文法語 とと、いて、 すうう場 できる 等 こと、いて、 てい 等 及 び 技 判 斯 り り する	0	0	【知識・技能】 英声法、問題では、現、適 一個別の一部では、現、適 一個別の一部では、現、適 一個別の一部では、現、適 一個別の一部では、 一個別の一部では、 一個別の一部では、 一個別の一部では、 一個別の一部では、 一個別の一部では、 一個別の一部では、 一個別の一部では、 一個別の一部では、 一の書の一部では、 一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の	0	0	0	16
定期考査					0	0		1

|--|

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 外国語 科目 実用英語

教 科: 外国語 科 目: 実用英語 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 A 組~ B 組

教科担当者: (発展: 大橋) (標準: 小安永) (組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書:(LANDMARK English Communication Ⅲ (啓林館))

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝えあったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 実用英語 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割など を理解している。	会的な話題について、情報や考えなどを外国 語で的確に理解したり適切に伝え合ったりし	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き 手に配慮しながら。外国語で聞いたり、読んだ りしたことを活用して自分の意見や考えなどを 話したり書いたりして表現しようとしている。

					領垣	ŧ						
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	話[や]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	配 当 赞 数
1学期	【学びに向かう力、人間性等】 デーマ別の指導事項について、他 者を尊重し、聞き手・読み手・話 し手・書き手に配慮しながら、外 国語で聞いたり、読んだりしたこ とを活用して自分の意見や考えな どを話したり書いたりして表現し ようとしている。	・指導常的な話話とないで、必要さ換スきをに応じて、調整を換えきないで、調査を関いてが明された関いたがの対報を記された関いたがの対報を記された関いたがの対報を記された関いたがの表が対報を記されたりでは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、とのでは、との	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 デーマ別の指導事項について、外国語の4 技能について、実際のコミュニケーションにおいて、実際のコ酸・技能を身に 付けている学習を通して、 言語の働きや役割などを理解して、。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項につ日考えなど合った。 りしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・で、別の指導事項について、他者書など自由の計消導事項に他をする。 りしている。 【学びに向かう力、人間性等】 デ重し、関きが、各番目のいたの意見いたの意見に配慮しながら、外国語して自分の意見に配慮したりを手手に配慮した。 が、外国に配慮したの意見して表現して表現して表現して表現して表現して表現して表現して表現して表現して表現	0	0	0	10
	定期考査								0	0		1

第【デ国ミきる外き 【デ所常報解い 【デ者し国とどよ 1 学期	コ職及び技能】 一般の指導事項について、外 一般の指導事項について、外 一般の指導事項について、外 一般の技能について、実際の 一般の技能について、 一般の技能を可して、 一般の技能を可して、 一般の表 一般の表 一般の表 一般の表 一般の表 一般の表 一般の表 一般の表	・指導事項 1)関心のある事柄や学校生活など 必要に の日常のな話題について、、と、 の日常のな話題について、 の日常のが表示を の日常のないで、とれなど の日常のないで、とれなど の日常のないで、とれなど の日常のないで、とれなど の日常のないで、といった のは、 の日常のないで、といった のは、 の日常のないで、 の日常のないで、 の日常のないで、 の日常のないで、 の日常のないで、 の日常のないで、 の日常のないで、 の日常のないで、 の日で、 の日で、 の日で、 の日で、 の日で、 の日で、 の日で、 の日	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 デーマ別の指導事項について、外国語の4 技能について,実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に 付けている。 【思考力、相響事項についる。 【思考力、判断力、表現力等】 デーマ別の指導事項について、場・社会の が飛流などに、情報の適切に伝え合った りしている。 【学で以に向はか適切に任き、他者を専 野のに、明常等のがでいる。 【学でのに向かう力、人間性等】 デーマ別の指導事項について、他者を専 事にしている。 【学での向かう力、人間サいて、手 まり、外国語の間手・、が、外国語の間の手・、が、外国語に関しながら、 のに関いまる。 「学のでは、のの表別の手・にいまります。 まず、外国語に関いるの意見したことを活用している。 まず、外国語によりして、表現しまります。 まず、大きに、まず、まず、まず、まず、まず、まず、まず、まず、まず、まず、まず、まず、まず、	0	0	0	10
「第1分国ミきる外き 【テ所常報解い 【テ者し国とど 「第1分国ミきる外き 【テ所常報解い 【テ者し国とど	3章 (Quest 9. 10, 13) コ識及び技能】 ーマ別の指導事項について、外 語の4技能について、実際のコ ュマ別の指導事項について、実際のコ っなりないで、実際のコ っち知識・技能を身に付けてい 国語の学習を通して、言語の働 や役割などを理解している。 思考力、判断力、衰現力等】 ーマ別の指導事項について、場 ・目・社会とどを外に応じて、情理 ・や考えなどを外え合ったり適切に伝え合ったり適切に伝える。 学びに向かう力、人間性等 と呼吸し、聞き手・読み手・話	・指導事項 1) 関心のある事柄や学校生活な どの日常的案話題について、必要発 の で	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 デーマ別の指導事項について、外国語の4 技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 デーマ別の指導事項について、場所・自的な話題について、情報・企業を主要解している。 【思考力、判断力、表現力等】 デーマ別の指導事項について、情報・会別に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 一マ別の指導事項に一能者を尊手に配慮しながらと、活用して自分で表現したらを活用して自分で表現しただりとを記書いたりしたことをいき。		0	0	16
定期	明考査								0	0		1
期 【テ国ミきる外き 【テ所常報解い 【テ み一語コる。国や 思一・的やしる 学一	3章(Quest 9. 10, 13) a a a m (Quest 9. 10, 13) a m (Quest 9. 10, 13) a m (Quest 9. 10, 13) a m (Quest 9. 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10,	・指導事項 1)関 では、文文の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の	0	0	0	0		【知識及び技能】 デーマ別の指導事項について、外国語の4 技能について、集際のコミケーを身に 対技において活用できる知識、土技能を分に 付けている。 外国語の学習を通して、 言語の働きや役割がとを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 デーマ別の指導事項につい日常えなどを介った もお話題につまる。 「神・治療にのは、一般のないでは、一般	0	0	0	16
定期	明考査								0	0		1

3 学期	【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにに付けて、実際活用できるの。 国語の事態を対して、実際活用できる。 の外をや選を通して、「語のる。外国語の事態を関して、「動物の事態を関して、「動物の事態を関して、「大学では、「大学、「ないは、」は、「は、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、	・指導事項 1)4技能:領域を総合的に向上する 活動 〈強調構文、分詞構文完了形、部 分否定〉 2)4技能5領域を総合的に向上する 活動 〈仮定法過去完了、ifを使わない 仮定法過去、as if仮定法〉 ・教材 教科書	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 テーマ別の指導事項について、外国語の4 技能について、実際のコミュニケーションにおいて、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に 外国語の4 外国語の4 学習を通して、。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマ別の指導事項について、場所と会から が記断について、情報を必要では、 「というでは、 「というでは、 「学びに向かう力、人間性等」 テ重し、関きがら、外国語では、他者書き、 を理解したり適当など合かった。 「学びに向かう事項に、他者書き、 を事まに配慮しなが、外国語して自分の意見している。 「学びに向からか、外国をいた。 「学びに向からか、外国に関いた意見、 を事まに配慮しなが、 をお話したりを活用してまり、 をする。 「学びに向かる。 「学びに向かる。」 「学びに向かる。」 「学びに向かる。」 「学びに向かる。」 「学びに向かる。」 「学びに向かる。」 「学びに向かる。」 「学びに向かる。」 「学びに向かる。」 「会している。		0	0	13
	定期考査								0	0		1

週ごとの指導計画(単元指導計画) 新様式例

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 理科 科目 化学

 教 科: 理科
 科 目: 化学
 単位数: 4 単位

対象学年組: 第3学年 A組~B組

教科担当者: 佐藤 義幸

使用教科書: (化学 vol.1 理論編(東京書籍), 化学 vol.2 物質編(東京書籍))

使用教材: (新課程ニューアチーブ化学(東京書籍), サイエンスビュー化学総合資料(実教出版))

教科の目標:

【知識及び技能】 化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 化学的な事物・現象を観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 日常生活や社会の化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	どを通して探究し、見いだして表現する技	

						,
	2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光	2編 1章				
【知識·技能】	1節 反応とエンタルピー変化	【知識及び技能】				
	2節 ヘスの法則	・反応エンタルピーとその符号について表し方を説明できる。・反応エンタルピーの種類を説明できる。				
・反応エンタルピーの種類を説明できるようにす	3節 光とエネルギー	へスの法則を説明できる。				
	2章 電池と電気分解	・結合エンタルピーについて説明できる。・光が波であることを理解している。				
結合エンタルピーについて説明できるようにす	1節 電池 2節 電気分解	・化学発光について例を挙げて説明できる。				
・光が波であることを理解することができるようにす		【思考・判断・表現】				
る。	3編 化学反応の速さと平衡	化学反応とエネルギーについて, 観察, 実験などを通して探究 し, 化学反応とエネルギーにおける規則性や関係性を見いだし				
	1章 化学反応の速さ 1節 反応の速さ	て表現している。				
	2節 反応速度を変える条件	【主体的に学習に取り組む態度】				
【思考・判断・表現】 化学反応とエネルギーについて、観察、実験など	3節 反応のしくみ	・人間生活で起こる事象を化学反応とエネルギーの考えを用い				
を通して探究し、科学的に考察し、表現したりする	2章 化学平衡	て考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、 粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。				
	1節 可逆反応と化学平衡	・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したり				
土仲印に子自に取り組む態度	2節 平衡の移動	しようとしている。				
人間生活で起こる事象を化学反応とエネルギー の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決	3章 水溶液中の化学平衡	2章				
にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え科学的	1節 電離平衡	【知識及び技能】 ・電池の基本的な仕組みを理解し、ダニエル電池の仕組みにつ				
論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評	2節 塩の水への溶解	いて説明できる。				
・同趣解状の画性を振り返う (号架を休めたり、計 価・改善したりする態度を養う。		・主な実用電池の構造について,電極の反応式をもとに説明す ることができる。				
		・電池と電気分解の違いについて説明し、電気分解の酸化還元				
2章 電池と電気分解 【知識・技能】		反応について説明できる。 ・ファラデーの電気分解の法則を電極の反応式を使って説明で				
・電池の基本的な仕組みを理解し、ダニエル電池						
の仕組みについて説明できるようにする。 ・主な実用電池の構造について、電極の反応式を		【思考・判断・表現】				
もとに説明することができるようにする。		電池と電気分解について、観察、実験などを通して探究し、電池				
・電池と電気分解の違いについて説明し、電気分 解の酸化還元反応について説明できるようにす		と電気分解における規則性や関係性を見いだして表現してい る。				
వ 。						
・ファラデーの電気分解の法則を電極の反応式を 使って説明できるようにする。		【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を電池と電気分解の考えを用いて考察				
		するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強				
【思考・判断・表現】 電池と電気分解について、観察、実験などを通し		く考え科学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したり				
て探究し、科学的に考察し、表現したりする力を養		しようとしている。				
ō.		3編				
【主体的に学習に取り組む態度】		1章 【知識及び技能】				
・人間生活で起こる事象を電池と電気分解の考え を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれ		・反応物,生成物それぞれの反応の速さの表し方を理解してい				
らを活用しようとしたり、粘り強く考え科学的論拠に		る。 ・反応速度を変える様々な条件を理解している。				
基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評		・反応速度式が実験によって求められることを理解している。				
・同趣解状の画性を振り返う (号架を休めたり、計 価・改善したりする態度を養う。		・活性化エネルギーと化学反応の経路について説明できる。				
		【思考·判断·表現】				
3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さ		化学反応の速さについて,観察,実験などを通して探究し,化学 反応の速さにおける規則性や関係性を見いだして表現してい				
【知識・技能】		5.				
・反応物,生成物それぞれの反応の速さの表し方を理解することができるようにする。		【主体的に学習に取り組む態度】				
・反応速度を変える様々な条件を理解することが		・人間生活で起こる事象を化学反応の速さの考えを用いて考察				
できるようにする。 ・反応速度式が実験によって求められることを理解		するよさを認識し,問題解決にそれらを活用しようとしたり,粘り強 く考え科学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。				
することができるようにする。		・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したり				
・活性化エネルギーと化学反応の経路について説明することができるようにする。		しようとしている。				
		2章 【mith T. x v + t- 45】				
【思考・判断・表現】 化学反応の速さについて、観察、実験などを通し		【知識及び技能】 ・可逆反応, 不可逆反応などの用語を正しく使って説明できる。				
て探究し、科学的に考察し、表現したりする力を養		・平衡定数Kの表し方と使い方を説明できる。・ルシャトリエの原理を理解している。				
う。		・圧力変化による平衡移動や、濃度変化における平衡の移動を				
【主体的に学習に取り組む態度】		説明することができる。				
・人間生活で起こる事象を化学反応の速さの考え を用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれ		【思考・判断・表現】				
らを活用しようとしたり、粘り強く考え科学的論拠に		化学平衡について,観察,実験などを通して探究し,化学平衡に おける規則性や関係性を見いだして表現している。				
基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評						
・問題解状の回性を振り返って考察を保めたり、計価・改善したりする態度を養う。		【主体的に学習に取り組む態度】・人間生活で起こる事象を化学平衡の考えを用いて考察するよ	0	0	0	38
2章 化学平衡		さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え)		30
【知識・技能】		科学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したり				
・可逆反応,不可逆反応などの用語を正しく使って説明できるようにする。		しようとしている。				
・平衡定数Kの表し方と使い方を説明できるように		3章				
する。 ・ルシャトリエの原理を理解することができるように		【知識及び技能】				
する。		・酸の電離定数について, 酢酸を例に電離平衡の式を使って説明できる。				
・圧力変化による平衡移動や、濃度変化における 平衡の移動を説明することができるようにする。		・弱酸の電離度αが1よりかなり小さい場合の近似を理解するこ				
		とができる。 ・水のイオン積から,pHを求めることを理解する。				
【思考・判断・表現】 化学平衡について、観察、実験などを通して探究		・緩衝液についてその特徴を説明できる。・溶解度積について、説明できる。				
し、科学的に考察し、表現したりする力を養う。		・溶解度積が沈殿生成に影響していることを理解する。				
【主体的に学習に取り組む態度】		【思考・判断・表現】				
・人間生活で起こる事象を化学平衡の考えを用い		水溶液中の化学平衡について、観察、実験などを通して探究し、				
て考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活 用しようとしたり、粘り強く考え科学的論拠に基づき		水溶液中の化学平衡における規則性や関係性を見いだして表現している。				
判断しようとしたりする態度を養う。						
・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。		【主体的に学習に取り組む態度】 ・人間生活で起こる事象を水溶液中の化学平衡の考えを用いて				
im:ix 昔し/ニワッ の態度を養り。		考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、				
3章 水溶液中の化学平衡		粘り強く考え科学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したり				
		しようとしている。				
【知識・技能】 ・酸の電離定数について、酢酸を例に電離平衡の		000,00000				
・酸の電離定数について, 酢酸を例に電離平衡の 式を使って説明できるようにする。						
・酸の電離定数について、酢酸を例に電離平衡の 式を使って説明できるようにする。 ・弱酸の電離度 a が1よりかなり小さい場合の近似 を理解することができるようにする。						
・酸の電離定数について、酢酸を例に電離平衡の 式を使って説明できるようにする。 ・別酸の電離度αが1よりかなり小さい場合の近似 を理解することができるようにする。 ・水のイオン積から、pHを求めることを理解するこ		000000				
・酸の電離定数について、酢酸を例に電離平衡の 式を使って説明できるようにする。 ・弱酸の電離度 a が1よりかなり小さい場合の近似 を理解することができるようにする。						
・酸の電離定数について、酢酸を例に電離平衡の 式を使って説明できるようにする。 ・別酸の電離度 a が1よりかなり小さい場合の近似 を理解することができるようにする。 ・水のイオン積から,pHを求めることを理解するこ とができるようにする。						
・酸の電離定数について、酢酸を例に電離平衡の 式を使って説明できるとうにする。 引懸約の電離度 a が1よりかなか小さい場合の近似 を理解することができるようにする。 水のイオン積から、内柱を求めることを理解するこ とができるようにする。 級養術だこのでその特徴を説明できるようにす						

9 のことか ぐさのように 9 の。		1	ĺ		1
【思考・判断・表現】					
水溶液中の化学平衡について、観察、実験などを 通して探究し、科学的に考察し、表現したりする力					
を養う。					
【主体的に学習に取り組む態度】					
・人間生活で起こる事象を水溶液中の化学平衡の 考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決に					
それらを活用しようとしたり、粘り強く考え科学的論					
拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評					
価・改善したりする態度を養う。					
定期考査		0	0		1
)		

	4編 無機物質 【知識·技能】	4編 無機物質 1章 周期表と元素	4編 【知識及び技能】				
	【知識、技能】 ・問期妻中の元素を正しく分類することができるようにする。 ・水素の製法・性質・用途を正しく理解することが できるようにする。 ・酸素の製法・性質・用途を正しく理解することが できな。 ・ハロゲンの単体について正しく理解することができるようにする。	1章 周期表と元素 1節 周期表と元素 2章 非金属元素の単体と化合物 1節 水素とその化合物 2節 貴ガス 3節 酸素とその化合物 4節 元がととの化合物 5節 確義とその化合物 6節 窒素・リンとその化合物 6節 窒素・リンとその化合物 7 が以来・ケイ素とその化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物 1節 アルカリ上類金属とその化合物 3節 12族以外の典型金属元素とその化合物 3節 12族以外の典型金属元素とその化合物 1節 遷移元素の単体と化合物 1節 遷移元素の単体と化合物 1節 遷移元素を砂性などの合物 2章 温泉元素とその化合物 5章 金属イオンの分離と確認 1節 金属イオンの分離と確認 1節 金属イオンの分離と確認		0	0	0	36
	定期考査			0	0		1
1		l	l			l	l l

2学期	ようにする。 ・有機化合物の構造式決定の手順を理解すること ができるようにする。 ・有機化合物の構造大な可重鎖状アルカンの名称 を正しく理解することができるようにする。 ・アルカンの性質を正しく説明できるようにする。 ・アルカンの性質を正しく説明できるようにする。 ・アルカンを元にアルケンの名称や構造について理解することができるようにする。 ・アルー・アルマートの機能と受類方法を正しく説明できるようにする。 ・アルールの構造と分類方法を正しく説明できるようにする。 ・アルールの構造と分類方法を正しく説明できるようにする。 ・アルールの構造と分類方法を正しく説明できるようにする。 ・アルールの構造と分類方法を正しく説明できるようにする。 ・アルールの構造と分類方法を正しく説明できるようにする。 ・アルールの構造と分類方法を正しく説明できるようにする。	5編 有機化合物の特徴と構造 1節 有機化合物の特徴と構造 2節 有機化合物の構造式の決定 2章 炭化水素 1節 飽和炭化水素 2節 不 飽和炭化水素 3章 アルコールと関連化合物 1節 アルコールと関連化合物 4節 エステル・油脂・セッケン 4章 芳香族以化水素 2節 フェノール報と 芳香族かルボン酸 3節 芳香族 化合物 4節 芳香族 化合物 4節 芳香族 化合物 5番 大・シとアン化合物 4節 芳香族 化合物の分離	5編 【知識及び技能】 ・ 有機化合物の特徴を正しく理解している。 ・ 有機化合物の構造を決定の手順を理解している。 ・ 有機化合物の構造を決定の手順を理解している。 ・ 有機化合物の基値機となる直鎖状アルカンの名称を正しく理解している。 ・ アルカンを元にアルケンの名称や構造について理解することができる。 ・ アルカンを元にアルケンの名称や構造と理解することができる。 ・ アルコールの酸化反応について、正しく理解している。 ・ アルコールの酸化反応について、正しく理解し、生成物を答えられる。 ・ アルフールの酸化反応について、その特徴を理解し、説明することができる。 ・ アルアドドルウェきまな反応について、その特徴を理解し、説明することができる。 ・ アルアドドルウェきまな反応について、その特徴を理解し、説明することができる。 ・ アルアドドルクーを成について、アルコールの学習から正しく考えることができる。 ・ アルアドドとケトンの生成について、アルコールの学習から正しく考えることができる。また、ヨードホルム反応を生じる化合物の特別では、アルコールの学習から正しく考えることができる。 ・ エステルの構造と特徴について、正しく理解している。 ・ アニリンの合成方法を正しく理解している。 ・ アニリンの合成方法を正しく理解している。 ・ アニリンの合成方法を正しく理解している。 ・ アニリンの合成方法を正しく理解している。 ・ アニリンの合成方法を正しく理解している。 ・ アニリンの合成方法を正しく理解している。 ・ アニリンの合成方法を正く理解している。 ・ アニリンの合成方法を正く理解している。 【思考・判断・表現】 【	0	0	0	30	
	定期考査			0	0		1	
	する。	1節 単軸類と二糖類 2節 多糖類 3節 アミ/酸 4節 タンパク質 3章 合成高分子化合物 1節 合成繊維 2節 合成樹脂 3節 ゴス 4編 化学が果たす役割 1章 化学的性質の利用と 工業的製法 1節 ハウゲンの性質と 酸化速元反応の応用 2節 物質の工業的製法	 6編 【知識及び技能】 (「知識及び技能】 高分子化合物の構成について、正以理解している。 ・ 天然高分子化合物の構成について、正以理解している。 ・ 接吻 基本的な表し方、構造、特徴について正しく理解している。 ・ 持の基本的な表し方、構造、特徴について正しく理解している。 ・ ニトロセルロースについて正しく理解している。 ・ 再生繊維について、正と、理解している。 ・ 不デン療しついて、正と、理解している。 ・ アンパ質の反応について、正と、理解している。 ・ アンパ質の分類について、正と、理解している。 ・ タンパン質の分類について、正と、理解している。 ・ タンパン質の発造について、正し、理解している。 ・ タンパン質の基色反応について正と、理解している。 ・ タンパン質の基色反応について正し、理解している。 ・ タンパン質の基色反応について、正し、理解している。 ・ オーンの強造について、正し、理解している。 ・ オーンの強力について、正し、理解している。 未間能の製法について正し、理解している。 ・ 大然二ムについて、その特徴を正し、理解している。 ・ 一方成力にし、で、その特徴を正し、理解している。 	0	0	0	6	

・人間生活で起こる事象を高分子化合物の考えを 用いて考索する込を登録し、問題解除にとずいた を活用したうとしたり、粘り強く参え科学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。 ・問題解決の動きを振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。			合計
			140

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 理科 科目 生物

科 目: 生物 単位数: 4 単位 教 科: 理科

対象学年組:第 3 学年 A 組~ B 組

教科担当者: (A組・B組:田中遼) 使用教科書: (生物〔数研出版〕

の目標: 教科 理科

【知 識 及 び 技 能 】 自然の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かうカ、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を 深め、科学的に探究するために必要な観察、 実験などに関する基本的な技能を身に付ける ようにする。		生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具	体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
とれて、念とに基能 判化しのう か化わた 地名 はなせた 大 進通でよる にので関って で学生進版 という かんり といった かんり という かんり たい かんり かんりん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん	能】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・指導事項 第1章 生物の進化 第1節 生物の多様性と共通性 第2節 遺伝子の変化と多様性 第3節 遺伝子の組み合わせの 変化 第4節 進化の仕組み 第5節 生物の系統と進化 第6節 人類の系統と進化 ・教材 教科書、図説、授業プリント、 実験・実習プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 単元の振り返りの入力・提出 (Forms)、スケッチ記録の共有 (Teams)	【知識・技能】 ・生物の進化について、生命の起源と細胞の進化、遺伝子の変化と進化の仕組み、生物の系統と進化の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】・生物の進化についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・生物の進化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	0	0	0	24
分理にな作に 【 察命い 【 現も科養 ・、法科察記け 考命実象し び命にた的に 【 察命い 【 生象っ学う。 ・関連りになり。	能】 質について、細胞 基本のな概念とと を理解させために基本理 を探究するするする などに必本身 の基本的な技能を身	・指導事項 第2章 細胞と分子 第1節 生体物質と細胞 第2節 タンパク質の構造と性質 第3節 化学反応に関わるタンパク質 ・教材 教科書、図説、授業プリント、 実験・実習プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 単元の振り返りの入力・提出 (Forms)、スケッチ記録の共有 (Teams)	【知識・技能】 ・生命現象と物質について、細胞と分子、代謝の基本的な概念や原理・法則などを理解している。 解目でいる。 解析を対している。 を教育を関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】・生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の進化についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・生物の進化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったいる。	0	0	0	12
定期考査				0	0		1

第2編 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	・指導事項 第2章 細胞と分子 第3節 化学反応に関わるタンパク質 第4節 膜輸送や情報伝達にかかわるタンパク質 第3章 代謝 第1節 代謝とエネルギー 第2節 呼吸と発酵 第3節 光合成 ・教材 教科書、図説、授業プリント、 実験・実習プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 単元の振り返りの入力・提出 (Forms)、実験記録の共有 (Teams)	【知識・技能】 ・生命現本的な概念や原理・法則などを理解などの関するとないに必要な観察、実際などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】・生命現して、観察、実験などを通していて、観察、実際などを通していた。 【思考・判断・表現】・生命現している。 【思考・判断・表現】・生命現りにないのではにいて、表現している。 【主体のは、というでは、表現している。 【主体のに学習に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	0	0	0	20
【知識伝統と発表の表表表表の表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	第4章 遺伝情報の発現と発生 第1節 DNAの構造と複製 第2節 遺伝情報の発現所 第3節 遺伝子の発現所 第4節 発生と遺伝子の発現所 第4節 発生と遺伝子を抜う技術 ・教材 教科書、授業プリント、実験・ 実習プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 単元の振り返りの入力・提出 (Forms) 、実験記録の共有 (Teams)	・遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現と発生とは一次では、遺伝本的な概念や原理・法則などのを必要なが変を必要などに関するためにに関するを担けている。 ・科学的に探究するために必要などの実験などに関するを持ている。 ・関係を見いでいて、観察、 ・遺伝情報の発現と発生に一切にて発現の ・遺伝情報の発現と発生に一切にて発現の が変を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・遺伝情報の発現と発生に関するまり、見通しをもったりました。 ・遺伝情で関わり、見通しをもったりようとしている。	0	0	0	20
定期考査			0	0		1

第4編 東京 第4編 東京 第4編 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	・指導事項 第5章 動物の反応と行動 第1節 刺激の受容 第2節 ニューロンとその興奮 第3節 情報の統合 第4節 刺激への反応 第5節 動物の行動 ・教材 教科書、授業プリント、実験・ 実習プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 単元の振り返りの入力解析	【知識及び技能】 生物の環境応答について、動物の反応と 行動と植物の環境応答についる。 理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実 験などに関する基本操作や記録などの基本 的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の環境応答について、観察、実験な どを通して探究し、環境変化に対すいる。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の環境応答に関する事か・現象に進 んで関わり、見通しをもったり振り返った りするなど、科学的に探究しようとしている。	0	0	0	20
定期考査			0	0		1
基本的な概念や原理・法則などを理解させるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録させる。 基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、環境応答して探究し、観察、実験などを通して探究し、観察をから、一般で答り、特徴	・指導事項 第6章 植物の環境応答 第1節 植物の生活と植物ホルモン 第2節 発芽の調節 第3節 成長の調節 第4節 器官の分化と花芽形成 の調節 第5節 環境の変化に対する応 答 第6節 配偶子形成と受精 ・教材 教科書、授業プリント、実験・ 実習プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 単元の振り返りの入力・提出 (Forms)、実験結果の解析	【知識及び技能】 生物の環境応答について、動物の反応と 行動と植物の環境応答について、動物の反応と 理・注則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実 験などに関すとは付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する。 と通して探究し、環境変化に対する。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の環境応答に関する事り振り返った りするなど、科学的に探究しようとしている。	0	0	0	20

3	第5編 生態と環境 【知能と環境 【知能と環境 生態と環でしいて、本的などのでである必らである必らである。 生態とと、生態ととででは、大きな、生態となった。 生態ととででは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが	・指導事項 第7節 生物群集と生態系 第1節 個体群内の個体間の関係 第3節 異なる種の個体群間の 関係 第4節 生態系の物質生産と物質循環 第5節 生態系と人間生活 ・教材 教科書、授業プリント、実験・ 実習プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 単元の振り返りの入力・提出 (Forms)、実験結果の解析	【知識及び技能】 生態と環境について、個体群と生物群集、生態と環境について、個体群と生物群集、生態系の基本的な概念や原理・法則なするために対象を主要な観察、実験などに関するために対象を変更を表現力等 まために必要などの基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 生態と環境にといる。 【思考力、判断力、表現力等】 生態と環境にといる。 【思考力、判断力、表現力等】 生態と現境にといる。 【生態と現境にといる。 【学びに向かう力、人間性等】 生態と環境に関するったり振りに表現できるようにであり、入り間しをも現りに発現できるようにようととする。 【学びに向かう力、人間性等】 生態と環境に関うなどと表に、自然環境の保全に寄与するを美方。	0	0	0	20
		1	1	<u> </u>			合計
L							140

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 理科 科目 物理基礎

 教 科: 理科
 科 目: 物理基礎
 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 A 組~ B 組

教科担当者:(A組発展:松柴直樹、A組標準:田中遼、B組発展:松柴直樹、B組標準:田中遼)

使用教科書: (物理基礎〔第一学習社〕

教科 理科 の目標:

【知識及び技能自然の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物体		
の運動と様々なエネルギーについて理解する	を養う。	わり、科学的に探究しようとする態度を養
とともに、科学的に探究するために必要な観		う。
察、実験などに関する基本的な技能を身に付		
けるようにする。		

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	・指導事項 物理量 物体の運動 1 速さ 2 等速直線運度 4 速度 6 等加速度直線運動 3 変度皮溶合。 相対速度 5 加速度直線運動(1) 7 等加速度直線運動(2) 8 重力放射 10 水平投射 ・教科書、授業プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等無の解析	【知識及び技能】 ・運動の表し方を日常生活や社会と関連付けながら、物理量の測定と扱い方、運動の表しついての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などを身に付けている。 ・などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 正して探究し、運動の表し方における規則性や関係性を見いだして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 運動の表し方に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	0	0	0	12
定期考査			0	0		1
1 学期 第 2 節 放び 2 を 1 常生活を 2 を 1 常生活を 2 を 1 常生活を 2 を 1 常生活を 2 が 2 が 3 が 3 が 3 が 3 が 3 が 3 が 3 が 3 が	・指導事項 第2節 力と運動の法則 1 カと質量 2 いろい合な力 3 力の合成・分解と成分 4 力のつり反作用の法則 6 慣性の法則 7 力と質量と加速度の関係 (1) 8 カと質量と加速度の関係 (2) 9 運動の法則 10 摩擦力 11 流体から受ける力 ・教材書、授業プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 実験結果の解析	【知識及び技能】 ・様々な力とその働きを日常生活や社会と関連がけながら、様々な力、力のつりの理理・計算を関連動の法則についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本体でも記録などの基本体で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な力とその働きについて、観察、実験なける規則性や関係性を見いだして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な力とその働きに主体的に関わり、見通しをなわとり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	0	0	0	11
定期考査			0	0		1

第3節 仕事能】	 ・指導事項 第3節 仕事と力学的エネルギー 1 力がする仕事 2 仕事の原理と仕事率 3 運動エネルギー 4 重力による位置エネルギー 5 弾性力による位置エネルギー 6 力学的エネルギー(1) 7 力学的エネルギー(2) ・教材 教科書、授業プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 実験結果の解析 	【知識及び技能】 ・力学的エネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】力学的エネルギーについて、観察、実験なども関則性や関係性を見いだして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】力学的エネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	0	0	0	7
第Ⅱ章 熱 ***********************************	 ・指導事項 第1節 熱 1 温度と熱運動 2 熱と熱平衡 3 熱量の保存 4 物質の三態 5 熱と仕事 6 エネルギーの変換と保存 ・教材 教科書、授業プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等実験結果の解析 	【知識及び技能】 ・熟を日常生活や社会と関連付けながら、熱 と温度、熱の利用についての基本的な概念や 原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験 などに関する基本操作や記録などの基本的な 技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・熱について、観察、実験などを通して探究 し、熱における規則性や関係性を見いだして 表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・熱に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	0	0	0	5
第 II 章 波動 第 11 節 波の性質 【知節及び技能】 波を日、波の性質 「変を日、波の理性にといての基準解されているとと関連付けないなどを理究の性質に活や性会と関連付けないなどを理理・科察会とと要ない。 ないる、表に、教育をとと要ない。 ないるとと要なではいまり、表にない。 は、表にないでは、表にないでは、表にないでに、表にないでは、表にないでは、表には、表には、まには、表には、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないで	 ・指導事項 第1節 波の性質 1 波と振動 2 波の表し方 3 横波と縦波 4 波の電な合わせ 5 定常波 6 波の反射 ・教材 教科書、授業プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等実験結果の解析 	【知識及び技能】 ・波を日常生活や社会と関連付けながら、波の性質についての基本的な概念や原理・法則 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・波について、観察、実験などを通して探究し、波における規則性や関係性を見いだして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	0	0	0	5
定期考査			0	0		1

第Ⅱ章 波動 第2節 音波 【知識及び技能】 波を日音と振動に対会と関連付けながら、念やきいでは会り、 がら、念やもに、科学的に探究とと必要な優別できる。 とと必要な優別でするとと必要なを基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、、判断力、実力ので、とがに不要して、決だして表現できる。 【思考力、で、決だして表現できる。 【思考のいで、し、決だして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人、間性等】 決にないたりになったりとする態度を表す。	 ・指導事項第2節 音波 1 音の速さと3要素 2 波としての音の性質 3 弦の固有振動 4 気柱の固有振動 ・教材教科書、授業プリント、問題集 - 一人1台端末の活用 等実験結果の解析 	【知識及び技能】 ・波を日常生活や社会と関連付けながら、音と振動についての基本のな概念や原理・法則 ・科学的に探究するために必要な観察、実験 などに関する基本操作や記録などの基本的な 技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・波について、観察、実験などを通して探究し、決波における規則性や関係性を見いだして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・波に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	0	0	0	6
第11章 電荷と電流 【知識及で技能】 電荷と電流 【知識及で技能】 電気を日常生活や社会と関連付けなが支充や原理・注則ないなどのも、かな概念や原理・注別なの基本のは必要な作の。 を理解するために必要な作や付けさいを理解するためとと要な作や付けさいを理解するためと必要な作や付けさせる。 とともに、報察、録をせる。 【思考力、判断力、表現別等】電気に探究に関いて、電気にに探究し、可能の表として表現の基本場がある。 【思考力、でし、記述の表別におけるのと、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	第1節 電荷と電流 1 電荷 2 電流と電気抵抗 3 物質と抵抗率 4 抵抗の接続 5 電力量と電力	【知識及び技能】 ・電気を日常生活や社会と関連付けながら、物質と電気を托抗についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・電気について、観察、実験などを通して探究し、電気における規則性や関係性を見いだして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・電気に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	0	0	0	8
定期考査			0	0		1
第N章 電気 第2節 電流と磁場 【知識及可能と一定などの 電気を日本では、1000 で	 ・指導事項 第2節 電流と磁場 1 磁場 2 モーターと発電機 3 交流の発生と利用 4 電磁波 ・教材 教科書、授業プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 実験結果の解析 	【知識及び技能】 ・電気を日常生活や社会と関連付けながら、電気を日常生活や社会と関連付けながら、電気の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・電気について、観察、実験などを通して探究し、電気における規則性や関係性を見いだして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・電気に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	0	0	0	4

第V章 電気 エネルギーとその利用 【知識及び技能】 エネルギーとその利用 とその利用 を 日常生活 かれ とその利用 を 日常生活 かれ 会と関連付けながて の 基本 とその利用 とその利用 らいて 必要 な 一般 で 表 で と と を で は 表 が で ま な ま な	 ・指導事項 第3節 エネルギーとその利用 1 太陽エネルギーの利用 2 原子核と放射線 3 原子力とその利用 ・教材 教科書、授業プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 実験結果の解析 	【知識及び技能】 ・エネルギーとその利用を日常生活や社会と問連付けながら、エネルギーとその利用にいての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・エネルギーとその利用について、観察、実験などを通して探究し、電気における規則性や関係性を見いだして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・エネルギーとその利用に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	0	0	0	4
関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。 3学期 終章 物理学が拓く世界 【知識及び技能】	・指導事項 終章 物理学が拓く世界	【知識及び技能】 ・日常生活や社会と関連付けながら、物理学				
日常生活や社会と関連付けながら、物理保証を任金と関連付けながら、物理概念や結合と世界に知などを理解させるとと要な機変、実がでは、とともに、観察、実がの基本的な技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】物理学が拓く世界につな探できる。 【思考がなどを通りで、し、術との科目ででいる。 【学びに向かう力、人間性等】物理学が拓く世界につり振りでしたりをはがある。 【学びに向から力、人間性等】物理学が拓く世界にもり振りでもある。 【学びに向から力、人間性等】わり、するなど、科学的に探究する。 態度を養う。	※早 物理子が知れ、世外 ・新体験と空力学 ・信動車が拓く世界 ・ICカード ・教材 教科書、授業プリント、実験・ 実習プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等調べ学習、発表	・日本生活や社会と関連刊りなから、物理学 が拓大世界についての基本的な概念や原理・ 法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な 技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 物理学が拓く世界について、観察、実験など を通して探究し、この科目で学んだ事柄が科学技術と結びついていることを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 物理学が拓く世界に主体的に関わり、見通 しをったり振り返ったりするなど、科学的 に探究しようとしている。	0	0	0	4
	I	1				合計 70

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 公民 科目 政治·経済

単位数: 2 単位 教 科: 公民 科 目: 政治·経済

対象学年組:第 3 学年 AB 組

教科担当者: (A組:谷口 修太 (B組:谷口 修太 (組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (『政治・経済』東京書籍)

教科 公民 の目標:

【知識及び技能】 倫理・政治・経済などに関わる現代の諸課題を理解し、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、多面的に考察し、合意形成や社会参画を視野に入れながら議論している。

【学びに向かうカ、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目 政治・経済 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断する ための手掛かりとなる概念や理論について、 理解する。 ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に 調べまとめる技能を身に付けるようにする。	なる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に 考察する。	・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。 ・現代社会に生きる人間しての在り方や 公共的な空間に生き国民主権を担う公民として自国を愛し、その平和と繁栄を図ること や、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 第1編 第1編 第1編 現代日本の政政治 と経済 1 章職 現代日本の政政治 と経能、権主と、 選択代目を表表すの政政治 機能、権主社会。 諸考適別 と、 人務方象・ の、 政政治の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の	 ・指導事項 第1章 現代の日本の政治 1節 民主政治の基本原理 2節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題 ・教材 教科書 ワークシイント掲示資料 ・一人1台端末の活用 	【知識・技能】 ・民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解する。 ・現代し、政治関する課題を世界の政治できる。 ・現代し、政治関する世論形成ことができる。 【思考・判断・表現】 ・よりなことが必ずるといができるといができるといができるとのようなできないようなのはとができることができるとが現在かを考察でする習に取り組たのかを考に対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	0	0	0	14
	定期考査			0	0		1
1 学期	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	・指導事項 第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ 3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題 ・教材 教科書 ワークシート パワーポイント掲示資料 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・経済主体と経済の循環、企業活動と社会的 責任、市場経済の機能と限界、国民所得と経済 成長、物価と国民生活、金融および財政のしく みと機能について理解することができる。 ・需要曲線と供給曲線から物価の決定を理解 し、それが日本の景気とどのような関係にあ るのかを理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・日本の経済が抱えや社会が抱える諸課題の 解決に向けて自分には何ができるか考察す る。 ・企業や市場経済、国民所得などの観点に着 目し、現代の経済はどのようなしくみで、ど のような課題があるのか考察することができ る。				

身に考力、判断力、表現力等】 ・経済活動と福祉の向上との関連 ・経済活動と福祉の向上にに考察 ・経済活動と福祉の角的いた。 を通いてする。 ・市場経済の機能と限界,持続会 にし, 場場経済ので、 ・根型では、 を通いて、 を通いてきる。 ・大にである。 ・大にである。 ・大にである。 ・大にである。 ・大にである。 ・大にである。 ・大にである。 ・大にである。 ・大にである。 ・大にである。 ・大にである。 ・大にである。 ・大にである。 ・大にである。 ・大にである。 ・大にである。 ・大にである。 ・大にである。 ・大きなが、 ・大きなが、 ・大きなが、 ・大きなが、 ・たい ・たい、	【主体的に学習に取り組む態度】 ・経済活動の意義を通して、市場経済の限界を知り、福祉社会とどのような関係にあるのか追究することができる。	0	0	0	14
定期考査		0	0		1

と題る 社会とものの解、との書のの解ととと の解していると可と健持というは、一次の書ととと の解していまる保護の深いという。 とのと可と健持というは、一次のようと、一般など、一般など、一般など、一般など、一般など、一般など、一般など、一般など	際 保自方変財保防ど決せ 家。国の, 諸 】保自方変財保防ど決せ見 の役察 】向つう念国際	【知識・日本の主義の主義の主義の主義の主義の主義の主義を主義を主義を主義を主義を主義を主義を主義を主義を主義を主義を主義を主義を主	0	0	0	14
定期考査	Ide Westerner	The sales had the V	0	0		1
D単元 第2編 グローバル化する国会 第2章 現代の国際政治 【知識及び技能】 ・貿易の現状と意義,為替相変動,国民経済と国際収支国調の必要性や国際経済機関の	会 第2章 現代の国際政治 場の ・教材 際協 教科書	【知識・技能】 ・貿易の現状と意義、為替レートの変動,国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について,現実社会の諸事象を通して理解を深めることができる。・現代の国際経済に関する諸資料から,課題の解決に向けて考察,構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し,読み取り,ま				

	について、現実社会の諸事象を通 して理解を深める。 ・現代の国際経済に関する諸賓祭、 構想する際に必要な情報を適方を 身に力、判断力、表現力等】 ・相互依存していて多多の ・特質に一次まる多角的に 者の特質に表現する。 【学びに向か経済にある。 【学び代の理解できるとしようと ・理論をと人類の福祉に寄与しようと する自覚を深める。	パワーポイント掲示資料・一人1台端末の活用 等	とめることができる。 【思考・判断・表現】・個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、相互依存関係が深まる国際経済の特質および国際経済において果たすことが求められる日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとすることができる。	0	0	0	14
	定期考査			0	0		1
3学期	度単元 第2編 グローバル化する国際社 会第3章職人には、 一次で、 一次で、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、	 ・指導事項 第2編 グローバル化する国際社会 第3章 国際社会の諸課題 ・教科書 ワークシート パワーポイント掲示資料 ・一人1台端末の活用 	【知識・技能】 国際社会にお音ないで、課題の解決に向いてが、課題の解決について、課題の解決について、課題の解決についるで、課題の解決についるできる。 は、できる。 「思考・バルで、ま現り、ができる。 「思考・バルで派・エイノ紛争で、大きで、大きでで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大きで、大	0	0	0	10
							70

教科担当者: (A組:谷口 修太 (B組:谷口 使用教科書: (『新詳 地理探究』帝国書院 教科 地理歴史 の目標:

地理や歴史に関わる事象の意味や意義。特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考 【思考力、判断力、表現力等】 察にたり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説 明したり、それたる基に議論したりする力を考っ

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を表うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を適して高美される日本国史としての自覚、我が「国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの交切さについての自覚などを深める。

科目 地理探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的 な諸事象の規則性、傾向性や、世界の 諸地域の地域的特色や課題などを理解するとと もに、地図や地理情報システムなどを 用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互 の関連を、位置や5 市場所、人間と の関連を、位置や5 市場所、人間と 6 代表、は 6 代表、は 6 代表、は 7 に 7 に 7 に 7 に 7 に 7 に 7 に 7 に 7 に 7 に	(学びに同かつが、人間性等) 地理に関かる語事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体に探究しようする態度を要うとともに、多 面的・多角的な事祭や深い理解を通して語か 人養される日本国民としての自覚、我が国の 国土に対する受情、世界の諸地域の多様な生 活文化を算恵しようとすることの大切さにつ いての自覚などを深める。
	,, and	

	単元の具体的な指導目標	指導項目·内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	4 単江 第 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1	・指す 年本 日本	知識、技能 ・地形、気候、生態系の空間的な規則、解析に もとに、それらの事態の空間的な規則、解析に もとに、それらの事態問題の現実、 に ・ の事態の理解の表現、 に ・ の事態の理解の表現、 に ・ の事態の理解の表現、 に ・ の事態の理解を を を に ・ の事態の理解の表現 ・ 本本・レーや表表。 ・ 工業を の空間的な規則 ・ は ・ の意識事象を は に ・ の表述・エネ・レー・ ・ で ・ の表述・生態からな ・ と ・ で ・ の関かった ・ で ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ で ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の	0	0	0	25
	定期考査			0	0		1
1学期	【知識文化統計 (2000年) (200	- 指導率項 ・ 通信と観光、貿易 ・ 通信と観光、貿易 ・ 通信 ・ 一人口間 ・ 一人口 ・ 一人 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一	知識、技能】 ・交通・通信制と物液や人の移動に関する運・線、観光などに関わる諸事象をもとに、それ ・交通・通信制と物流の大の事象の空間的な規則性、傾向性や、突 ・通・通信、観光に関わる計画を切りなり、 ・ 人口、都市・村客などに関わる諸事象をもりに、それ ・人人口、都市・村客などに関わる諸事象を傾向 ・ 人人の、都市・村客などに関わる諸事象を傾向 ・ 人人の、都市・村客などに関わる諸事象を傾向 ・ とに、それもの事象の一般の大の移動に関す。 ・ 一般の対象などに関わる諸事などに関わる諸事などに関わる。 ・ とと、それもの事象の一般のに関す。 ・ 一般の特徴を場所の活などに関わる諸事などに関わる諸事などに関わる諸事などに関わる諸事などが、 ・ 一般の特徴を場所の活などに関わる諸事などに関わる。 ・ 一般の特徴を場所の活など、に関わる諸事などに関わる。 ・ 一般の対象が、 ・ ・ 一般の対象が、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0	0	0	28
	定期考査			0	0		1

3 学期	定期考査 正単元 第2部 現代使果におけるこれからの 日本の四土性果におけるこれからの 日本の四土性果におけるこれからの 日本の四土性の関土性の関土性の関土性の関土性の関土性の関土性の関土性である。 日本の四土地の関土性の関土性では、接水力・多の 四土地の関土性のでは、2000年の10年の10年の 日本間が、10年の10年の10年の 日本間が、10年の10年の10年の 日本間が、10年の10年の 日本に対していて、10年の 日本に対していていて、10年の 日本に対していていて、10年の 日本に対していていて、10年の 日本に対していていて、10年の 日本に対していていて、10年の 日本に対していていて、10年の 日本に対していていていて、10年の 日本に対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	・指導事項 第3節、現代世界におけるこれか らの日本の国土像 第1章、特殊の間立の任力力 1節、特殊の間立の在り方 は 研究 ・ 数材 シークシート、 、ソワーポイント掲示資料 ・一人 1 台端末の活用	加端・技能】 現代世界におけるこれからの日本の国土像の 程究をもとに、現が国が他える地理的な諸親 腿の解決の力的性や円本の目との在り方など を構想することの重要性や、接究する手法な どについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界に対しるこれからの日本の国土や を関係した。 との可能と対しるとは、 をできないます。 とのではなります。 とのではなります。 とのではなります。 とのではなります。 とのではなります。 とのではなります。 とのではなります。 とのではなります。 とのではなります。 とのではなります。 とのではなります。 とのではなります。 とのではなります。 とのではなります。 とのではなります。 とのではなります。 とのではなります。 とのではなります。 とのに分かになります。 とのに分がした。 とのにから、 とのにり、	0	0	0	26
		・指導事項 策な郎 頭代世界にむけるこれか	【知識・技能】 取作世界におけるこれからのロオの間上場へ	0	0		1
	1						
	即年完 第2章 現代世界の諸徳域 【知識及び技能】 、いくつかの地域に区分地域に不分した現代世 、いくつかの地域に区分地域に不ら 、いくつかの地域に区分地域に不ら 、いくつかの地域に区分地域に区分地域に区分地域を 、は、地域の大型域で、 、地域に区分した現代世界。 、は、地域の大型域で、 、地域的に大型域で、 、地域的に大型域で、 、地域的に大型域で、 、地域的に大型域で、 、地域的に大型域で、 、地域的に大型域で、 、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、 、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、 、、地域的、 、 、、地域的、 、、地域的、 、、地域的、 、、 、、 、、 、、 、、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	・指揮事項 第2章 現状世界の諸地域 序節 第2章 現域の考験方法 12節 総別 12節 総別 12 を表 12 を表 13 を表 14 を表 15 を表 16 を表 17 を表 17 を表 18 で 18 で 1	知識・技能) いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域ともとに、諸地域に入られる地域的特色や地球的問題が全だついて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域ともとに、地域の結びつき、そもとに、地域の結びつき、をもとに、地域の結びつき、大型といる。 「里代世界の諸地域といった。地域の結びつき、構造や変などに着目と、現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変などに着目し、地域の結びつき、構造や変などに着目とし、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考数、表現している。 【主体的に学習に取り組む地域】 現代世界の報告地域について、よりよい社会の実現を視断にそこでみられる課題を主体的に発見しまうとしている。	0	0	0	29
	定期考查	. H-X的中心	I forests . ++ cts]	0	0		1
2学期	(単元 第8 章 生活文化、民族・宗教 第2 部 現代世界の建設的等寫 引率 現代世界の建設的等寫 引知度及び技能! 「知識なりは、宗教などに、それたらの事疾院、 引知度及び技能! 「日本語文化、民族・宗教などに、それたらの事疾院、 同様のは、宗教などに、それたの事疾院、 には、日本ので、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	- 指導率項 第5章 生放文化、民族・宗教 1 節 氏族・宗教と民族問題 3 節 医原次の領域と領域と関連 3 節 医原次の領域と領域と同題 3 節 第1章 地域 近分 ・教材 シャル・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カール・トール・カール・トール・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カール・カ	知識、技能) ・生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土間関の東外や要因、特決に向けた取り組みなどについて理解といった。 ・世界や世界の諸地域に関する各種の主題のである。 ・世界や世界の諸地域に関する各種の主題を分かする方法や地域の概念。地域区分の意識などについて連邦と地域の概念。地域区分の意識などの方する方法や地域の概念。地域区分の意識など、日本の主要を対している。一世の中枢、共和の中枢、大型、自然の中枢、大型、自然の中枢、大型、自然の中枢、大型、自然の中枢、大型、自然の中枢、大型、自然の中枢、大型、自然、大型、自然、大型、自然、大型、自然、大型、自然、大型、自然、大型、自然、大型、大型、自然、大型、大型、自然、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、大型、	0	0	0	28

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度	教科 地理歴史	科目 歴史総
------------	---------	--------

教科 地理歴史 の目標:

【知 旅 及 び 技 能 】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な 情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察 【思考力、判断力、表現力等】 したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明し たり、それらを基に議論したりする力を養う。

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度 【学びに向かう力、人間性等】 を奏うとともに、多面的・多角的な考察や深い顕像を通して演奏される日本国をとしての自覚、我が国の 国上や歴史に対する受情、他国や他国の文化を重要することの大力さについての数などを深める。

科目 歴史総合

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かうカ、人間性等】
野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる	意義、特色などをと、時期や年代、推移、比較、 相互、概念というながりなどに着目と 特別、歴史にみられる課題を把握し解決を視 したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視 別に入れて構想したりする力か、それらを基に議 たことを効果的に説明したり、それらを基に議	近現代の歴史の変化にかからる諸事象につい て、よりよい社会の実現を程序に課題を主体 的に追究、解決しようとする態度を養うと もに、多面的・多角的な考察や深い理解を通 しての自覚、我が 国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を 尊重することの大切さについての自覚などを 深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学	4 単元 1 解結からく世界、2 変 成立 1 解結からく世界、2 変 成立 1 知職及び技能 1 ・アジソアを判していて、その特徴 ・アジアを地で大・帝国が家立した大・帝国が家なした。 1 記等力へを地に成立した大・帝国・ 1 記等力へを地に成立した大・帝国・ 第一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	・指導事項 第1 東京でく世界 1 アンプ語地域の繁栄をと日本 2 ヨーロッドにおける主権国家体制 割2 東京広における主権国政とヨーロッパ、バルの海外連出 第2 東京広立 1 ヨーロッパ・アメリカ市 第2 東京広立 1 ヨーロッパ・アメリカ市 会 アメリカ 独立 革命とフランス革 会 3 19 転定前半のヨーロッパ・ 5 19 転記のデメリカナ 6 西アンプの様氏地化 7 中国・開港と日本の開 関連と日本の開 関連と日本の開 ア・メリカ・大陸・ 南アンプの様氏地化 ・ 大村 中国・ 大田・ 大田・ 大田・ 大田・ 大田・ 大田・ 大田・ 大田・ 大田・ 大田	「知識・技能」 ・15~16 他紀におけるアジア各地側が成 ・15~16 他紀におけるアジア各地側が成 ・15~16 他紀におけるアジア各地側が成 ・20 しその特徴について理解している。またさいたことができる。 ・側断・表現】・大木常田、ヨーロッパ ・26 一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、	0	0	0	12
期				0	0		1
	B 単元 第3章明治維新と日本展開と下ジア は 4 章 章帝国主義の原間と下ジア は 1 知識及が対策的である。 4 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章 章	・指導事項 第3 専門結構をと日本の立憲体制 1 明治協議をと請な体制 9 明治別報を制度 3 自由日標主義の動態と監修制 4 集管部主が必要を制度 1 日本の企業第一般の対象 1 日本の企業第一般の対象 1 日本の企業第一般の対象 1 日報をから、 1 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	知識・技能 現場・技能 明治新政府のもと、始められた近代化政策について、その外交、政治について内容と過程について内容と過程について内容と過程について関係を表現している。 日本の近代が始ままについるとのからならならなった。また外交政策の変化について、テジアで到かて日本は近代化を行い、急激アジアで対している。 というなんだい は、一次ジアで初かて日本は近代化を行い、急激な化では、外交や政治、産業がどのような過程で進んだのか。違党しようとしている。	0	0	0	12
	定期考査			0	0		1

	C単元 第5章等子次世界大戦と大 東社会 第6 軍経済危機と第二次 批会 第6 軍経済危機と第二次 批会 東京	・指導事項 第5 章等一次世界大戦とセシア革命 1 第二次世界大戦とロシア革命 2 国アジア・フリカ地域の民族移 4 大東清報社会と旧民生活の東容 政治参加・企業とと同の対応 5 社会・労働動か企業とと同の対応 7 1 世界会域の発生を目の対応 7 ファンズの日報 1 世界会域の発生を目の対応 4 日中総令と国内外の動き 4 日中総令と国内外の動き 5 数材 数料 数料 5 数材 数料 5 十八フーボイント掲示資料 5 十八フーボイント掲示資料	【知識・技術】 ・2度の世界・戦が起きた原因と大戦後の社会の変化したいた理解し、日本もどのように変化したのかを理解している。 ・2度の世界と戦力を対象された原因について、政治・思想・国民の心情など様々な角度から考彰している。 ・2度の世界・最初で世界に取り組む地度 ・2度の世界・戦中の世界中度 ・2度の世界・戦中の世界中度 ・2度の世界・戦争ので世界中間について様々な地域の状況を比較しながら検討しようとしている。	0	0	0	13
2	定期考査			0	0		1
学期	□単元 第7章報後の世界秩序と日本の改革 第5章報後の世界秩序と日本の改革 第5章報後の世界秩序と由外を出て、1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	・指導事項 第7 享敬の国際秩序と台級の始まり 第7 章をの国際秩序と台級の始まり 新 2 の国際秩序と台級の始まり 3 占領 5 の国際秩序と台級の始まり 3 占領 5 の国際大学と台級の 4 第 8 章を接上は一般で 第 8 章を接上は一般で 第 8 章を接上は一般で 第 8 章を終しませた。 第 8 章を表した。 第 8 章を表した。 8	【知識・技能】、機後の占領下の日本や国際連 ・第二次世界・機後の占領下の日本や国際理 もの成立、「特別についてきる。 ・1 と では、1 では、1 では、1 では、1 では、1 では、1 では、1 では、1	0	0	0	13
	定期考査			0	0		1
3 学期	国東京 第9章グローバル化する世 第 10章が代金標題 「知識及び技能」 「知識及び技能」 「知識なが現れことについて理解する。 「思考力、判断り、表現力等」 「記考力、判断り、表現力等」 となったことについて背景や要長ま たた。それ考した。というによりを発した。 たた。それぞれるはある日本の影響について学びに向から力人人間性等」 ・ソ連の排壊に対して必要でから収 が顕著になったこととついてどの ような点に着いたこととでいてどの ような点に着いたことといいてどの ような点に着いたというにないが顕著になったことといかと はよいかを追究する。	- 指導事項 第9章グローバル化十名世界 1 合敬の終結と国際情勢 2 ソ連の帰業 経済のグローバル 化 3 発展途上国の民主化と独裁攻権 の動語 (大の動語) 5 国際社会のなかの日本 第10章 現代世界の諸議題 2 大世界の諸議題 2 教科書 フークント バワーポイント掲示資料 - 人1台端末の活用 等	知識・技能) ソ連の社会主義体制の改革「ベレストロイカ」や中東の神争問題、日本での55年体制 カ」や中東の神争問題、日本での55年体制 の勝張について、1つの地域だけを見るので はなく、比較しながら理解している。 「思考・判断・表現] ・ソ連崩壊板の地域約争やテロなど国際情勢 にどのようだ響を与えたのか、多面が・多 角的に考察する。 「王体的にテ智言といる、分析方法や視 人を会談だし、現代社会の結構をしないで、分析方法や視 及を設定し、現代社会の結構をしないで、分析方法や視 見いものに改善しまうとしている。	0	0	0	16
							合計 70

年間授業計画 新様式

保健体育 科目 体育 高等学校 令和6年度(3学年用) 教科

教 科: 保健体育 単位数: 2 単位 科 目: 体育

対象学年組:第 3 学年 A 組~ B 組

教科担当者:天野•中田

使用教科書: (新高等保健体育(大修館)

教科 保健体育

の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

運動や健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】

生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し 判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他 者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期:	A 体つくり運動 【知識及び技能】 ・体つくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己の体力生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てる力を養った継続するための自己や仲間の課題を豊かに発動できかに合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するともに伝える力を解決に向けて取り組み方を工夫するととる力を解決に向けの考えたことを他者に伝える力を育っ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体つくり運動に主体的に取り組むとともに、一互いに助け合い高め合おうとすることと、一人とするにしまうとする態度を養しまうとする態度を養	・指導事項 体は運動 新体力デスト ・教材 ・教材 ・教科書、プリント、各用 ・一人1台端末の活用 等	A 体つくり運動 【知識及び技能】 ・体つくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を近にわたってることができる。 ・生涯にわたって運動を豊かに理能のない自己や仲間の課題を発見し、大きもにが立るためのようをではいて取り組み方を工夫ももにがするためのようとを仲間の考えたことを他者に伝えることが、 【学びに向かう力、人間性等】 ・体つくり運動に主体のに取り組むととも一人のできる。 【学びに向からからたりまることに、ケータといていた助け合い高めきおうとすることと、人うとなんの違いに応じた動きをがよっとなど、大きなどを、、使康・安全を確保しようとしている。	0	0	0	6

E 球技 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの多様な楽しさや高となりまるなどの多様な楽しさやあって高いない。 競技会の七方などを理解と連携しが一ムを展開する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】・生涯にわたって課題を発見し、上き事るためののチームや自己の課題を発見し、大きるともに、育正の計画とで、自己やチームの考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】・球技に主体的に取り組み方を工とを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】・球技に主体的に取り組むること、一気で成にじたプレイを大切にしようとすること、一意に応じたプレイなど高からとすると、一人の違いに近いは、互いに助け合い高め合い。 は、安全を確保しようとする態度を養う。	 ・指導事項 アルティメット、テニ ・教材 教科書、プリント、各 用具 ・一人1台端末の活用 等 	【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力のを理解するとと技術な方法、競技会の化方などで仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思想にわたって運動を豊かに継続するためのチェースを開けたった理動を豊かに継続するためのチェースで自己でいまり組み方を工を他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組み方を工を他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組みたことを必ずにした。は、自己できることができる。 【学びに向から力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組みたとしたの違とのアンレイを大切にしようとすること、の違としたの違となどを大切にしようとすることを確保することができる。	0	0	0	16
D 水泳 【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、と見色に、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐ力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画ものの取り組み方を工夫するとと力を養決に向けての課題を発見し、会工をもに、勝切などものでは、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗なども冷静に受け止め、外間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗なども冷静に受け止め、火り組むともで大受けられていた。 「学びに向から力、人間性等」 ・水泳に直接を治療をでいている。 などや水泳の事故防止に関するる心を速度を表さると、後するにした。 などや、水泳の事故防止に関するる心を態度を養う。	ぎ、バタフライ ・教材	【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯に向けて運動を豊かに継続するための自己に向けて取り組み方を工夫するとともに、対して取り組み方を一般できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝助なども己を治論に受け止め、別組むとともに、勝助なども治さるとができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝助などを冷静に受け止め、別担むとともに、勝切にしまうとを光がに主体的に引き受人の高ことを冷静に受け止め、別れていまなどでまたとかとすることとができる。	0	0	0	6
田 体育理論 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの対果的な学習の仕方、豊課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツの設計の仕方についての学習に主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 スポーツの発祥と発展 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	田 体育理論 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツの対象計の仕方についての学習に主体的に取り組むことができる。	0	0	0	2

	D 水泳	・指導事項	【知識及び技能】				
	【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐ力を養う。	ぎ、バタフライ ・教材	・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。 【思考力、判断力、表現力等】				
	【思考力、判断力、表現力等】・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	等	・生涯にわたって運動を豊かに継続するための 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な 解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることが できる。	0	0	0	10
	【学びに向かう力、人間性等】・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすると、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとする態度を養う。		【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすると、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。				
2 学期	E 球技	• 指導事項	【知識及び技能】				
	【知識及び技能】 ・膀敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する力を養う。	【選択】バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、サッカー、ソフトボール、アルティメット、テニス	・勝敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、 技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとと もに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携し ゲームを展開することができる。				
	【思考力、判断力、表現力等】・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える力を養う。	・教材 教科書、プリント、各 用具・一人1台端末の活用 等	【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための チームや自己の課題を発見し、合理的、計画的 な解決に向けて取り組み方を工夫するととも に、自己やチームの考えたことを他者に伝える ことができる。	0	0	0	20
	【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、合意形成に貢献しようとすること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとする態度を養う。		【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組むとともに、フェアな プレイを大切にしようとすること、合意形成に 貢献しようとすること、一人一人の違いに応じ たプレイなどを大切にしようとすること、互い に助け合い高め合おうとすることなどや、健 康・安全を確保することができる。				

2 学期	・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組む態度を養う。	 ・指導事項 運動・スポーツの学び方 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等 	旧 体育理論 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの対化的特性や現代のスポーツの発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発動かなスポーツの対象時ができる。	0	0	0	2
3 学	!	 ・指導事項 【選択】 ・ボーート・ボーー・ドットボーク・ボーク・ボーク・ボーク・ボーク・ボーク・ボーク・ボーク・ボーク・オーク・・・・・・・・・・	【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題を解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームにも同けて取り組み方を工きを他者に伝えると、対してきる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・球技に主体的に取り組み方とこと、合意いに立てとができる。 【学びに自かう力、人間性等】 ・水球に主体的に取り組むとともに、フェアなにことができる。 【学びに自な解すること、人の違いに応じいますること、人の違いに応じいようとすること、人の違いに応じいは助け合い高め合おうとすること、健	0	0	0	6
<u></u>	日 体育理論 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツの効果の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、やまな、ボーツの対化的特性を現代のスポーツの発展、正動やスポーツの発度、変別の対象界の仕方についての学習に主体的に取り組む態度を養う。	 ・指導事項 豊かなスポーツライフの 設計 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 	田 体育理論 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発 展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】・スポーツの発 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、解できる。 【思考力、判断力、表現力等】・スポーツの発力を対したのスポーツの対象界的な学習の仕方、課動やスポーツライフの設計の仕方に思考しし、よりよい解決に向けて思考しし、よりよい解決に向けて思考ともに、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発 悪、運動やスポーツの対化的特性や現代のスポーツの発 悪、運動やスポーツの効果的仕方についての学習に主体的に取り組むことができる。	0	0	0	2
							合計 70

情報 科目 情報Ⅱ(3類系) 高等学校令和6年度(3学年用)教科

教 科: 情報 科 目: 情報Ⅱ(3類系) 2 単位

対象学年組:第 3 学年 B 組 教科担当者: (B組:浅沼翔太)

使用教科書:(「情報Ⅱ」(東京書籍) 使用教材: (「情報Ⅱ 学習ノート」(東京書籍)) 教科 情報 の目標:

【知 識 及 び 技 能 ・情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と

ハニン図1/2011 2011 といてい生歴を深めるようにする。 「思考力、判断力、表現力等を構な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を 【思考力、判断力、表現力等を養う。

【学びに向かう力、人間性等・情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う.

科目 情報Ⅱ

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	・様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養う.	・情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	への影響について理解する. 【思考力、判断力、表現力等】情報技術の発展や情報社会の進展を踏まえ、コミュニケーションが多様化する社会におけるコンテンツの創造と活用の意義、人の知的活動が変化する社会における情報システムの創造やデータ活用の意義について考察する. 【学びに向かう力、人間性等】	(理論編) 1章 情報社会 01 情報社会の進展と情報技術 02 コミュニケーションの多様化 03 人間の知的活動へ影響 ・章末資料 ・1章のまとめ ・章末問題 (実習編) 1章 情報社会 01 うわさの研究 02 地域のデータを可視化しよう 03 人工知能と仕事を考える 04 POSシステムを調べる	【知識・技能】 ・情報技術を適切に活用する方法やコミュニケーションの手段の特徴を理解している。 ・社会を支える情報システムについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・情報社会の進展で発生しうる問題に対応する方法について考えるとともに、身近な情報システムがどのように連携されているのかを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人工知能と仕事との関わりや生成AIの活用方法について提案しようとしている。	0	0	0	10
	中間考査			0	0		1
1 学期	を組み合わせたコンテレスを制作する技能を身に 付け、コンテレスを操々な手段で適切かつ効を様々な手段で適切かつ効を様々な手段で適切かつの形成とに発信する方法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】。 目的や状況にで音声、静・動画などを選慮し、組合せを考えなず、事か・動・動・動・動・が変速し、規合では、対し、担心を考えない。できない。できない。 起し、組合せを考えがら、コンテンツを社会に発コンテンツを制作し、コンテンツを制作し、コンテンの耐していたときの評価してか、計画などを組み合わせたインでといい。 【学びに音声を計画して発力では、まないでは、まないのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	(理論編) 2章 コンテンツ 04 メディアの特性と利用 05 コンテンツの制作 06 コンテンツの制作 06 コンテンツの発信 ・章末資朝 ・ 2章のまとめ ・章末問題 (実習編) 2章 コンテンツ 05 プログラムで絵ををしよう 06 3Dの新製品の開発をとう 08 楽しくまとのよう 10 学校PRプログェクト 11 情報のチェックリストを作ろう 12 プロジェクションマッピング	【知識・技能】 ・コミュニケーションの形態とメディアの利用 方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・効果的なコミュニケーションの形態とメディアの を統合したコンケーションの形態とメディアの特性との組み合わせを判断しつつ。、メディアを統合したコンテンツを制作するためのはな方法を考さることができる。 【主体の記事や広告の内容を多角的な視点で検 証しながら、制作したコンテンツの内容を振り 返り、生成AIを検証の手段として活用しようとしている。	0	0	0	15
	期末考査			0	0		1

	(3) 情報とデータサイエンス 【知識及び技能】 多様かつ大量のデータの存在やデータ活用のっ 用性、データサイエンスが社会に果たす役割収集や いて理解し、でしま述るで、現象のモデルをする いで理解した。とま述るで、現象のモデルをする 要理,整形を手の上を表して、現象にし、改善では、 技能を力、は、まなデータの収集して整理 技能を力、でして、適切なデータを収集して整理 し、整形しのにで、適切なデータを収集して整理 し、整形したがして、適切なデルをりまるためにより、 を予測したがして、適切なデルをりまるためにデル化やが見楽したのは、ま現を行い、や処理の結果を評価をして、かめて、 があるのから、で、の、と、と、と、と、と、と、と、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	(理論編) 3 章 データサイエンス 07 社会にあふれるデータ 08 データペースの管理と操作 09 データの収集と整類 10 データの分析と分類 11 モデルの評価と検証 12 機械学習と人工知能 ・章末青問題 (実習編) 3 章 データサイエンス 13 データを地図上にする 14 ガチャは何回引けば当たるのか 15 データを整理しよう 16 キーボードの配列を研究しよう 16 早年ボードのよう 18 好きなものをマップにしよう	【知識・技能】 ・データの特性やデータを分析する方法について理解している。・機械学習と人工知能を活用したデータ分析の手法について理解している。 【思考・判断・表現】・データベースを操作するための命令について考えるとともに、目的に応じて内容を分析する方法を判断することができる。・分析結果の適切さについて考察しながら、機械学習での教師あり学習と教師なし学習ので判断することができる。 【主体のといて判断することが応き度】・シミュレーションのプログラムやモデルの数式を変更して、より実践的なデータ分析を試みようとしている。	0	0	0	15
2 学	中間考査			0	0		1
	(4) 情報システムとプログラミング 【知識及び技能】 情報システムにおける情報の流れや処理の仕組情報システムにおける情報の流れや処理の仕組情報システムの設計を表配する方法、設計, 実装, マステムの設計を表記する方法、設計, セス 世界のプロをおける。 (表	(理論編) 4章 情報システム 13 情報システム 14 情報システム 14 情報システム 15 情報システムのプログラム ・章来資料 ・4章のまとめ ・章末問題 (実習編) 4章 情報システム 19 ニャブレットを探せ! 20 額検出とARを体験しよう 21 小さな情報システムを作ろう 22 テキストマイニングしてみよう 23 掲示板システムを作ろう	【知識・技能】 ・情報システムを構成する具体的な情報技術や情報セキュリティを確保する技術について理解している。 【思考・判断・表現】 ・情報システムを設計するために必要な信頼性について考えるとともに、情報システムのトラブルを防ぐための適切なセキュリティ対策を判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ARのメカニズムについて科学的に考察するとともに、生成AIを活用して様々な応用事例に関する事柄を調べようとしている。	0	0	0	10
	期末考査			0	0		1
3 学期		(理論編) ・「情報Ⅱ」のまとめ (実習編) ・「情報Ⅱ」のまとめ *生徒の興味・関心や学校の実態 に応じて、コンピュータや情報システムの基本的な仕組みと活用,報 技術の活用、データを活用するための情報技術の活用、情報社会と 情報技術の中から課題を設定して 問題の発見・解決に取り組ませる。	【知識・技能】 ・これまでの「情報Ⅱ」の学習内容を通じて、情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深めている. 【思考・判断・表現】 ・これまでの「情報Ⅲ」の学習内容を通じて、様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力が養われている. 【主体的に学記に取り組む態度】 ・これまでの「情報Ⅱ」の学習内容を通じて、情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度が身に付いている.	0	0	0	16
							70

年間授業計画

高等学校 令和6年度 教科 和 日 海洋情報演習 水產 科目 海洋情報演習 教科

教 科: 水産 科 目: 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 B 組~

(組:)(組:)(組:) 教科担当者: (B組: 伊藤·浅沼) 使用教科書: (なし

教科 水産 の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 海洋情報演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考刀、判断刀、表	垷刀寺 】	【字ひに向かっ	刀、人	间性等	1	
	様々な事象を情報とその結び付題の発見・解決に向けて情報と情効果的に活用する力を養う.		情報と情報技術を適切に 社会に主体的に参画する態			もに,	情報
単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	Ē	評価規準	知	思	態	配当時数

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学	PC基本スキルの習得 【知識及び技能】 目的に応じた基本的な技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じたソフトや適切な表現方法について 模索し、表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報 技術を活用し、自ら評価し改善するとともに、望 ましい情報社会の構築に寄与しようとさせる。	 ・Word 基本スキル 各機能の選択 ・Excel 基本スキル 各機能の選択 ・Powerpoint 基本スキル 各機能の選択 ・長所を活かした選択 差し込み印刷等の各ソフトの組 合せ 	【知識・技能】 目的に応じた基本的な技術を身に付いている。 【思考・判断・表現】 目的に応じたソフトや適切な表現方法について模索し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善するとともに、望ましい情報社会の構築に寄与しようとしている。	0	0	0	10
	動画作成 【知識及び技能】 目的に応じた編集等の基本的な技術を身に付け させる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じた構成、適切な表現方法について模 素し、表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 動画編集について問題の発見・解決に向けて主 体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善 するとともに、望ましい情報社会の構築に寄与し ようとさせる。	・撮影計画の立案 Powerpointを使った絵コンテの 作成 ・撮影方法の選択 目的に応じた撮影機器の選択 撮影方法について ・動画編集 適切なトリミング 画面切り替えの効果	動画作成 【知識及び技能】 目的に応じた編集等の基本的な技術が身に付いている。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じた構成、適切な表現方法について 模索し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 動画編集について問題の発見・解決に向けて 主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し 改善するとともに、望ましい情報社会の構築に 寄与しようとしている。	0	0	0	16

年間授業計画 新様式例

 高等学校
 令和6年度(3学年用)教科
 水産
 科目
 小型船舶(海洋産業系)

 水産
 科目: 小型船舶(海洋産業系)
 単位数: 2
 単位

教 科: 水産

対象学年組:第 3 学年 B 組

教科担当者:今西・伊藤

使用教科書: (小型船舶操縦士上級 I · II、小型船舶実技教本

の目標:

【知識及び技術】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する 力を養う。

【学びに向かうカ、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 小型船舶 (海洋産業系) の目標:

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かうカ、人間性等】
	小型船舶の安全かつ適切な操船に関する課題 を発見し、漁業生産など海上業務に従事する	
	者として合理的かつ創造的に解決する力を養	関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働
	う。	的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1. 小型船舶の取扱い 【知識及び技術】 小型船舶の取扱いについて理解 するとともに、関連すっち技術を身 に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 小型船舶の取扱いで備及び点機 を発見し、発航前の準備及び点域 に着自して合理的かつ制造性等 「学びに向かう力、人にしいての 「学びに向から力、人にしいて必 小型船舶の取扱いにンジンの場 性・状態感覚を定す。	1. 小型船舶の取扱い 「りゅうおうⅡ・はぶⅠ・Ⅲ」 (1) 発行前の準備及び点検 (2) 解らか・係留 (3) 結案 (4) 方位測定	知識・技術] 小型船舶の取扱いについて理解するとと もに、関連する技術を身に付けている。 [思考・判断・表現] 小型船舶の取扱いに関する課題を発見し、発航前の準備及び点検に着目して合理的かの制造的に解決しようとしている。 主体的に学習に取り組む態度 小型船舶の取扱いについて自ら学び、発航前点検、エンジンの運転・状態確認まで 主体的かつ協働的に取り組もうとしている。。	0	0	0	6
2. 小型船舶の機能 I 【知識及び技術】 小型船舶の機能について理解するとともに、小型船舶であるとをもに、小型船舶本地的な機能を持っている。 大学を確保するためで、 は一次では、一次では、 、一、 、一、 、一、 、一、 、一、 、一、 、一、 、一、 、一、 、	2. 操縦 I 【りゅうおうⅡ・はぶI・Ⅱ】 基本操縦 (1) 安全 ii 直連・停止 (3) 後進 (2) 発進 ii 直連・停止 (3) 後進 (4) (5) 蛇行 (連続旋回) 応用操縦 (5) 蛇行 (連続旋回) 応用操縦 (2) 離岸 着岸 (3) 人命教助	【知識・技術】 小型船舶の操縦について理解するととも に、小型船舶の連続の安全を確保するため の基本的な操船技術及び状況に応じた操船 技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 小型船舶の安全な運航の確保に関する 課題を発見し、基本的な操船技術及び状況 に応じた操船技術とでいる。 【主体的に学習しようとしている。 【主体的に学習機能技術及び状況 に応じた機能技術とようとしている。 【主体的に学習機能技術とようとしている。 【主体的に学習機能力になり組むを度) 小型船舶の操縦について自ら学び、実際 の航海に活用できるように主体的かつ協働 的に取り組もうとしている。	0	0	0	16
3.機関(上級) 【知識及び技術】 小型船舶の機関について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等量 小型船舶の機関に守整備や機関放降時の対処の方法に着する。 【学びに向かう力、人切性性等〕 機関の保守整備に対して自身が、機関の正しい取扱いや機関放降時がの対処に方針が、機関の正しい取扱いや機関がより組む。	3. 機関 (上級) (1) 機関の取扱い (2) 機関の保守整備 (3) 機関故障時の対応	【知識・技術】 ・ 小型船舶の機関について理解するととも に、関連する技術を身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 ・ 小型船舶の機関に関する課題を発見し、 機関の保守整備や機関故障時の対処の方法 に着目して合理的かつ創造的に解決しよう としている。 【主体的に学習に取り組む態度】 機関の保守整備について自ら学び、機関 の正しい取扱いや機関故障時の対処に主体 的かつ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	8
定期考査			0	0		

【 の発生保の付きを持ています。 知小とを術に思小す技着す学小、 の全技身【 関船に決【 び、 ののである。に能勝	、判断力、表現力等】 船の安全な運航の確保に 題を発見し、基本的な技術 で状況に応じた連絡技術解 に向かう力、人間性等】 船の操縦について自ら学 の航海に活用できるよう かかつ路	2. 操縦Ⅱ 【とうしきⅠ・Ⅱ、おどりこ】 基本操縦 (1) 安全確認 (2) 発進・直進・停止 (3) 後進・停止 (4) 変針・旋回 (5) 蛇行 (連続旋回) 応用操縦 (1) 離岸・着岸 (2) 人命教助 (3) アンカーリング	【知識・技術】 ・小型船舶の操縦について理解するとともに、小型船舶の機縦について理解するために、小型船舶の運動の安全を確保するため技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・小型船舶の要全な運航の確保に関する課題を発見し、基本的な操射技術及び状況に応じた解船技術に着して合理的かつ創造的に解決しようとしている。 「土型船舶の操縦について自ら学び、実際の航海に活用できるように主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	16
2 学							
・ 類 ・ 無 の 全 技身【 関船に決【 の 会 技身【 関船に決【 の の の の の の の の の の の の の の	船舶の機縦Ⅲ び技術】 動の機縦について理解す に、小型船舶の運航の安 はた、小型船舶の運航の安 は大況に応じた機舶技術を る。、、判断力、表現力等】 舶の安全な運航の確保に して大況に応じた機船技術 で、合理的かつ創造的に解 に向かう力、人間化等) 等の機能について自らの の加海に活用できるよう にかり海筋側的に取り組む。	2. 操縦Ⅲ 【特殊小型船舶 海洋 I・Ⅱ】 基本操縦 (1) 安全確認 (2) 発進・停止 (3) 後進・直進・停止 (5) 乾行 (連続旋回) 応用操縦 (1) 離岸・着岸 (2) 人命枚助 (3) アンカーリング	【知識・技術】 小型船舶の操縦について理解するととも 、、小型船舶の運航の安全を確保するため の基本的な操船技術及び状況に応じた操船 技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・型船舶の安全な運航の確保に関する 課題を発見し、基本的な操船技術及び状況 に応じた操船技術に着目して合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小無に活用できるように主体的かつ協働 的に取り組もうとしている。	0	0	0	16
定期考查							
海付【確的船的【原格の場合の場合を表示に製術的場合を表演に製術の場合の場合の場合を表示に製術の場合の場合を表示しています。 3 学期 3 学期 2 学期 2 学期 2 学期 2 学期 2 学期 2 学期	び技術】 画の立案及び船位測定、 などの知識・技術を身に は、判断力、表現力等】 画を通して安全な運航の ける課題を発見し、基準 技術及び状況に応じた製造 着目して合理的かつ創造	6. 航海計画 (1) 海図による船位・針路・距 離の求め方。 (2) 水路誌・ヨッティング チャート等による調査 (3) レーダーによる船位・針 路・距離の測定・確認	【知識・技術】 航海計画の立案及び船位測定、海図作業 などの知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 航海計画を通見し、基本的な操船技術及び 状況に応じた操船技術に着目して合理的か つ創造的に解記技術に着目して合理的か つ創造的に挙習に取り組む態度】 振海計画について自ら学び、実際の航海 に活用できるように主体的かつ協働的に取 り組もうとしている。				8
							70

 高等学校
 令和6年度(3学年用)教科
 水産
 科目総合実習(海洋産業系)

 水産
 科目:総合実習(海洋産業系)
 単位数: 2 単位

教 科: 水産

対象学年組:第 3 学年 B 組

教科担当者:今西・伊藤・鈴木・伊藤(美)

使用教科書: (教科 水産

の目標:

【知 識 及 び 技 術 】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する 力を養う。

職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関 連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 総合実習(海洋産業系) の目標:

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	水産や海洋に関する課題を発見し、水産業や 海洋関連産業に関わる者として解決策を探究 し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決す	
	る力を養う。	的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	1. ドローン実習 「知識及び技術」 ドローンに関サイる。 「思考力・判断力、表現力等」 ドローンの利活用における課題 を発見し、合理的かつ創造的に解 決する。 【学びに向かう力、人間性等】 ドローンの利活用に関する意義 で現状を自ら学び、主体的かつ協 働的に取り組む。	・注令 ・基本技術 ・歴外での撮影 ・歴外での撮影・撮影計画の立案 ・撮影したデータの活用	知識・技術】 ドローンに関するより実用的な内容について理解している。 【思考・判断・表現】 ドローンの利活用における課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしてる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ドローンの利活用に関する意義や現状を 自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	12
1 学期	2. ロープワーク 知識及び技術] 基本的なロープワークについて 基本的なロープワークについて を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ロープワークに関する課題を発見 る。 【学びに向かう力、人間性等】 ロープワークについて自ら学 び、主体的かつ協働的に取り組 む。	1 スプライス (1) ショート・スプライス (2) カット・スプライス (3) アイ・スプライス (4) バック・スプラス (5) ウォール・ノット (7) シングル・マッシュ・ウォーカー (8) ダブル・マッシュ・ウォーカー	【知識・技術】 基本的なロープワークについて理解する とともに、関連する技術を身につけてい る。 【思考・判断・表現】 ロープワークに関する課題を発見し、合 理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ロープワークについて自ら学び、主体的 かつ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	6
	3. ダイビング実習 【知識及び技術】 ダイビングについて体系的・系 統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等) ダイビングに関する選邦等を発見し、水産や海洋での諸活動を安全かつ適切に行う移入もして合理的かつ適当の場合がでいる。 「学びに向から力、人間体等) 水産や海洋電車を実板展から、 素や海洋関連産業板展別を対した。 数で、主体的かつ協働的に取り組 む。	1. ナビゲーション ①ナチュラルナビゲーション ②コンパスナビゲーション 2. サーチ&リカバリー ①サークルサーチ ②ジャックステイ ③リフトバック	【知識及び技術】 (知識及び技術) 解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ダイビングに関する課題を発見し、水産や海洋での諸活動を安全かつ適切に介き者として合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 水産や海洋におけるダ柔ケイビングの活用を目指して自ら学び、水産を、海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	12

2学期	4. ウィンドサーフィン実習 知識及び技術】 ウインドサーフィンについて体 系的、系統的に理解するととも に、関連する技術を身に付ける。 に、関連する技術を身に付ける。 地書力、ドサーフィンに関する課 ウインドサーフィンに関する課金 全かつ適切に行うす者として合理的 がつ創造的に解決する。 性学びに向かう力、人間性等 海洋などにおけるウインドサーフィンの円分でなどにおけるウインドサーフィンの円がまかとなった。 海洋などにおけるウインドサー 指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の援興や社会貢献に主体的 かつ協働的に取り組む。	1. セイリング基礎技術 (1) ウインドクロックを意識したセイリング (2) タッキング (3) ジャイビング (4) ビーチスタート	【知識及び技術】 ウインドサーフィンについて体系的・系 統的に理解するとともに、関連する技術を 身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ウインドサーフィンに関する課題を発見 し、海洋での諸活動を安全かつ適切に行うる 者として合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋などにおけるウインドサーフィンの 円滑かつ安全な実施を目指している。 本産業や海洋関連産業の組集や社会蔵に 主体的かつ格働的に取り組もうとしている。	0	0	0	16
797	定期考査						
	5. フィッシング実習	1. 海洋実習	【知識及び技術】				
	【知識及び技術】 プロ・スティッシングの基本的な内容に ついて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 足患者カ、判断力、表現力等】 フィッシングにおける課題を発 見し、合理的かつ創造的に解等 プイッシングについて自ら学 び、主体的かつ協働的に取り組 む。	(1) 船約 b	アイッシングの基本的な内容について理解テイッシングの基本的な内容について理解テインをともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現、類を発見し、合理的かかの創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 フィッシングについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	14
3 学期		1. 編網 (1) 用具 (2) 編網方法	【知識及び技術】 編網の基本的な内容について理解すると もに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 編網における課題を発見し、合理的かつ 創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 編網について自ら学び、主体的かつ協働 的に取り組もうとしている。	0	0	0	10
							合計
							70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和6年度 (3学年用) 教科 水産 科目 課題研究 (海洋産業系) 株産 料 目: 課題研究 (海洋産業系) 単位数: 3 単位

教 科: 水産

対象学年組:第 3 学年 B 組

教科担当者:今西・伊藤・片桐・鈴木・伊藤(美)

使用教科書:(

教科 水産 の目標:

【知識及び技術】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する 力を養う。

【学びに向かうカ、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関 連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究 (海洋産業系) の目標:

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	水産や海洋に関する課題を発見し、水産業や 海洋関連産業に関わる者として解決策を探究 し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献

アイビング技術		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
「無職及び技術 カヤックに関するより実用的な内容について理解する。		【知識及び技術】 ダイビングに関するより実用的 な内容について理解する。 [思考力、判断力、表現力等] ダイビングにおける課題を発見 し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 ダイビングの意義や現状を自ら 学び、主体的かった傷物のに取り組	(1) 水中作業 (2) レスキュー (3) 水中作業 2. 海洋実技 (1) ビーチダイビング (2) コンパスナビゲーション (3) ナチュラルナビゲーション	ダイビングに関するより実用的な内容について理解している。 【思考・判断・表現】 ダイビングにおける課題を発見し、合理 的かつ創造的に解決しようとしてる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ダイビングを通してダイビングの意義や 現状を自ら学び、主体的かつ協働的に取り	0	0	0	15
【知識及び技術】 (1) 波・カレント (2) 教助用機材・器具 (3) 手信号 (4) 搬送方法 (3) 手信号 (4) 搬送方法 (3) 手信号 (4) 搬送方法 (3) 手信号 (4) 搬送方法 (1) 上来力・利斯力、表現力等】 (1) 上来力・利斯力、表現力等】 (1) 上来力・必要 (2) 上来力・のかった (2) 上来力・のかった (2) 上来力・のかった (3) 上来ではいる水上安全法に関立を発見し、合理的かっか協適的に解決しようとしている。 (2) 上本的かった (2) 上本的かった (3) 上来ではいる水上安全法に関立といった (2) 上来のからのではいて重ら (2) 上来のからのではいて重ら (3) 上来ではいる水上安全法について自ら学び、通り組む。 (4) ウィンドサーフィン技術 (1) 北沢に応じたセラティング (3) セイリング・アングル (4) タッキング (2) 色々な角度からのセイルアップ (3) セイリング・アングル (4) タッキング (3) セイリング・アングル (4) タッキング (5) ジャイビング (5) ジャイビング・(5) ジャイビング (5) ジャイビング (5) ジャイビング (5) ジャイビング (5) ジャイビング (5) ジャイグ (5) ジャイビング (5) ジャグ (5) ジャグ (5) ジャグ (5) ジャイビング (5) ジャグ (5)	学	【知識及び技術】 カヤックに関するより実用的な 内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 カヤックにおける課題を発見 し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 カヤックについて自ら学げ、主 体的かつ稼働的に取り組む、	メンテナンス 基本的なパドルワーク 2. 応用技術 ローブレース ハイブレース セルフレスキュー	カヤックに関するより実用的な内容について理解している。 【思考・判断・表現】 カヤックにおける課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしてる。 【主体的に学習に取り組む態度】 カヤックを通してダイピンの意義や現 状を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組	0	0	0	18
4. ウィンドサーフィン技術 【知識及び技術】		【知識及び技術】 海洋における水上安全法について理解するとともに、関連する技 落を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋における水上安全法に関する課題を発見、合理的かの創造 的に解決する。 (学びに向かう力、人間性等】 海洋における水上安全法につけ 「全方にのかった」、 で自ら学び、主体的から破働的に	(1)波・カレント(2)救助用機材・器具(3)手信号	【知識及び技術】 海洋における水上安全法について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋における水上安全法に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋における水上安全法について自ら学び、適切な機器の取扱いに主体的かつ協働	0	0	0	15
【知識及び技術】 ウインドサーフィンに関するより実用的な内容について理解する。 り実用的な内容について理解する。 「思考力、判断力、表現力等】 ・ (4) タッキング (3) セイリング・アングル (4) 多ッキング (4) タッキング (5) ジャイビング 「6) ビーチスタート 解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 ウインドサーフィンにおける課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしてる。 【学びに向かう力、人間性等】 ウインドサーフィンを通してダイビング の意義や現状を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。 「実びに向から力、人間性等】 ・ (6) ビーチスタート 解けるととしている。 「本体的かつ協働的に取り組む。 「知識及び技術】 ・ 「知識及び技術】 ・ 「知識及び技術】 ・ 「型特殊船舶を活用した救助について理解するとともに、関連する技術を身に付けでいて理解するとともに、関連する技術を身に付けでいる。 「ないる。 「知識及び技術】 ・ 「知識及び技術】 ・ 「知識及び技術】 ・ 「知識及び技術】 ・ 「型特殊船舶を活用した救助について理解するとともに、関連する技術を身に付けでいる。 「ないる。 「知識及び技術】 ・ 「知識など表情、関連する技術を身に付けでいる。		定期考査			0	0		
5. 特殊小型船舶を活用した救助 5. 特殊小型船舶を活用した救助 【知識及び技術】 「知識及び技術】 「知識及び技術」 「知識及び技術」 「小型特殊船舶を活用した救助に (1)救助用機材 解するとともに、関連する技術を身に付けついて理解するとともに、関連する方の 「でいる」		【知識及び技術】 ウインドサーフィンに関するより実用的な内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ウインドサーフィンにおける課題を発見し、合理的かつ創造的に 解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 ウインドサーフィンについて自 う学び、主体的かつ協働的に取り	(1) 状況に応じたセッティング (2) 色々な角度からのセイル アップ (3) セイリング・アングル (4) タッキング (5) ジャイピング	ウインドサーフィンに関するより実用的 な内容について理解している。 【思考・判断・表現】 ウインドサーフィンにおける課題を発見 し、合理的かつ創造的に解決しようとして る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ウインドサーフィンを通してダイビング の意義や現状を自ら学び、主体的かつ協働	0	0	0	18
【知識及び技術】		定期考査						
【思考力、判断力、表現力等】 小型特殊船舶を活用した救助に関する課 小型特殊船舶を活用した救助に関する課 小型特殊船舶を発見し、合理的かつ創造的に解決しよ うとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 小型特殊船舶を活用した救助に ついて自ら学び、主体的かつ協働 的に取り組む。 (3) 操縦技術 小型特殊船舶を活用した救助に関する課 関連を発見し、合理的かつ創造的に解決しよ うとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 小型特殊船舶を活用した救助について自 ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。。	学	【知識及び技術】 小型特殊総給を活用した敷助に ついて理解するとともに、関連す る技術を身に付ける。 【思考介・判断力、表現力等】 小型特殊船舶を活用した敷助に 削当の計に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 小型特殊船舶を活用した敷助に ついて自ら学び、主体的かつ協働 的に取り組む。	技術 (1) 救助用機材 (2) ドライバー・レスキュアー の役割 (3) 操縦技術	小型特殊船舶を活用した敷助について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 小型特殊船舶を活用した敷助に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 小型特殊船舶を活用した敷助にのいて自ら学び、主体的かつ路側的に取り組もうと	0	0	0	24
定期考查		定期考査						

6. ダイビング課題実習 【知識及び技術】 ダイビングに関するより実用的 な内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ダイビングにおける課題を発見 し、合理的かつ別が自動的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 学イビングの意義や現状を自ら 学び、主体的かつ協働的に取り組 む。	6. 課題実習 (海洋) (1) 潜水事前準備 (2) 潜水東崩準の確認事項 (3) エントリー前の確認事項 (4) 潜水中の注意事項 (5) エキジット後の確認事項 (6) 潜水後の片付け (7) 潜水記録	【知識・技術】 ダイビングに関するより実用的な内容について理解している。 【思考・判断・表現】 ダイビングにおける課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしてる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ダイビングを通してダイビングの意義や現状を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むうとしている。	0	0	0	12
6. ダイビング器材の保守・点検 【知識及び技術】 ダイビング器材の保守・点検に 関するより実用的な内容について 理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 メイビング器材の保守・点検に おける課題を発見し、合理的かつ 創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 ダイビング器材の保守・点検の 意義や現状を自ら学び、主体的か つ協働的に取り組む。	 ダイビング器材保守・点検 保守・点検方法 	【知識及び技術】 ダイビング器材の保守・点検に関するより実用的な内容について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ダイビング器材の保守・点検における課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ダイビング器材の保守・点検の意義や現状を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むうとしている。				3
						合計
						105

 高等学校 令和6年度 (3学年用) 教科
 水産
 科目 ダイビング (海洋産業系)

 水産
 科目: ダイビング (海洋産業系)
 単位数: 2 単位

)

教 科: 水産

対象学年組:第 3 学年 B 組

教科担当者:今西

教科 水産

使用教科書: (潜水士テキスト

の目標:

【知 識 及 び 技 術 】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かうカ、人間性等】 職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 ダイビング (海洋産業系) の目標:

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ダイビングについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付ける		
		産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に
		取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	1. ダイビングの概要 【知識及び技術】 ダイビングに関する基本的な内容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ダイビングにおける課題を発見 し、合理的かつ動造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 ダイビングを通してダイビング の意義や現状を自ら学び、主体的 かつ協働的に取り組む。	1. ダイビングの順要 (1) ダイビングの歴史 (2) 潜水者の適性 (3) ダイビングの種類	【知識・技術】 ダイビングに関する基本的な内容につい で理解している。 【思考・判断・支持 ダイビングにおける課題を発見し、合理 的かつ創造的に解決しようとしてる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ダイビングを通してダイビングの意義や 現状を自ら学び、主体的かつ協働的に取り 組もうとしている。	0	0	0	4
1 学期		2. ダイビングの環境 (1) 圧力・温度 (2) 浮力 (3) 気体の性質 (4) 水中での視覚・聴覚 (5) 海冷が流れ (6) 海洋生物	【知識・技術】 ダイビングの環境について理解している。 【思考・判断・表現】 ダイビングの環境に関する課題を発見し、合理的かの創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ダイビングの環境について自ら学び、人体に及ぼす影響や物理的な要因や環境を通し主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	12
	定期考査			0	0		1
	3. ダイビング機器 【知識及び技術】 ダイビング機器について理解するとともに、関連する技術を身に 付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ダイビング機器に関する課題を 発見し、合理的かつ創造的に解決 する。 【学びに向かう力、人間性等】 ダイビング機器の構造や使用法 などについて自ら学び、適切な機 器の散板いに主体的かつ協働的に 取り組む。	3. ダイビング機器 (1) スクーバ式 (2) ヘルメット式 (3) 全面マスク式 (4) その他の機器	【知識・技術】 ダイビング機器について理解するととも に、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ダイビング機器に関する課題を発見し、 合理的かつ創造的に解決しようとしてい る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ダイビング機器の構造や使用法などにつ いて自ら学び、適切な機器の取扱いに主体 的かつ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	12
	定期考査			0	0		1
	4. ダイビング技術 【知識及び技術】 ダイビング技術について理解するとともに、関連する技術を身に 付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ダイビングの技術の習得に関する課題を発見し、合理的かつ創造 哲学びに向かう力、人間性等】 ダイビングにおける適切かつ安 をな送気法、潜降法及び第上法か とどを目ら学び、主体的かつ協働的 に取り組む。	4. ダイビング技術 (1) 遠気法 (2) 薄隆法 (3) 浮上法 (4) 水中調査及び水中作業	【知識・技術】 ダイビング技術について理解するととも に、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ダイビングの技術の習得に関する課題を 発見し、合理的かつ創造的に解決しようと している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ダイビングにおける適切かつ安全な送気 法、潜降長及び浮上法などを自ら学び、主 体的かつ協働的に取り組むもうとしている。	0	0	0	14
	定期考査			0	0		1
2 学期		5. ダイビングの生理 (1) ダイビングの人体に及ぼす 影響 (2) ダイビングによる障害と対 策 (3) 教急処置	もに、関連する技術を身に付けている。	0	0	0	18
	定期考査			0			1

3学期	6. ダイビング関係法規 「知識及び技術] 安全なダイビングを実施するた 安全なダイビングを実施するた が、必要なダイビング関係法規に 関する基本的な内容について理解 「思考力、判断力、表現力等」 ダイビングに必要な法規についの 適的に解決する。 「学びに向かう力、人間性等」 安全なダイビングを実施するた めに必要な関係法規などの適切な を必に必要な関係法規などの適切な のに必要な関係法規などの適切な のに必要な関係法規などの適切な のに必要な関係法規などの適切な のに必要な関係法規などの適切な のに必要な関係法規などの適切な のに必要な関係法規などの適切な	 タイピンク関係法規 労働交全衛生規 高気圧作業安全衛生規則 漁業に関する法令 	(知識・技術) 安全なダイビングを実施するために必要なダイビング関係法規に関する基本的な内容について理解・判断) ダイビングに必要な法規についての課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 [主体的に学習に取り組む態度] 安全なダイビングを実施するために必要な関係法規などの適切な運用について自じ、主体的かつ協働的に取り組むうとしている。	0	0	0	6
							合計
							70

和 6 年度 (3 学年用) 教科 水産 科目 総合実習(船舶運航系) 科 目: 総合実習(船舶運航系) 単位数: 6 単位 高等学校 令和6年度(3学年用)教科

教 科: 水産

対象学年組:第 3 学年 B 組

教科担当者:早川、小湊、網谷、佐藤真、木村、(鈴木)

使用教科書:(船舶運用、航海・計器、図説海上衝突予防法・海上交通安全法・港則法

の目標:

【知 識 及 び 技 術 】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

「思考カ、判断カ、表現カ等」 大座や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する 力を養う。 【学びに向かうカ、人間性等】 職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業 の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 総合実習(船舶運航系) の目標:

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
水産や海洋の各分野について総合的に捉え体 系的・系統的に理解するとともに、関連する 技術を身に付けるようにする。	水産業や海洋関連産業に関わる者として合理 的かつ創造的に解決する力を養う。	水産や海洋の各分野に関する総合的な知識と 技術の実務への活用を目指して自ら学び、水 産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体 的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学 期		○軟海実習 ・船内大生活 ・船内大生活 ・船内大生活 ・北大海当事 ・食事難・制度 ・海洋・大阪・海洋・大阪・海洋・東部 ・海北県大阪・海洋・大阪・海洋・大阪・海洋・大阪・海洋・大阪・海洋・大阪・海洋・大阪・海洋・大阪・海洋・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・	「知識及び技術」 福洋漁業について総合的に捉え体系的・系 総的に理解するとともに関連する技術を多 に付け、船舶の運航に必要な知識・技術を 習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋漁業に関する課題を発見し、水産業や 海洋漁連産業に関する書として合理的かつ 動造的に解決策を見いだそうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋漁業に関する総合的な知識と技術の実 務年関連産業の表別を行い、水産業か の場所に主体的 の場所に主体的 の場所に主体的 の場所に主体的 の場所に主体的 の場所に対している。	0	0	0	70
2 学期	として合理的かつ創造的に解決策	「動海実習 ・	【知識及び技術】 海洋漁業工のいて総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身 に付け、船舶の運航に必要な知識・技術を 習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋漁業に関する書として合理的かっ 創造的に解決策を見いだそうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋漁業に関する者ともならとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋漁業に関する後合的な知識と技術の実 務への活用を目指して自気酸と水産業や 海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的か つ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	90
3 学期	海洋漁業に関する総合的な知識と	○航海実習 ・船內大生活 ・船內大生活 ・出入海当当無 ・食・食・養・養・養・養・養・養・養・養・生気・寒・通り、海・神・上気・寒・通り、寒・風刺、寒・寒・寒・寒・寒・寒・寒・寒・寒・寒・寒・寒・寒・寒・寒・寒・寒・寒・寒・	【知識及び技術】 福洋漁業に回いて総合的に捉え体系的・系 総的に理解するとともに関連する技術を含身 に付け、船舶の運航に必要な知識・技術を 習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋漁業に関する書として合理的かかの 創造的に解決策を見いただそうとして公理的から 個学辺に向かう力を合的な学び、大佐産業や 海洋漁業に関する者として合理的かの 制造的に解決策を見いただそうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋漁業に関するがとしている。 【学びに向かう力を合的な学び、大佐産業や 海洋関連産業の援興や社会貢献に主体的か つ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	50
							合計 210
L							210

 高等学校
 令和6年度
 教科
 水産
 科目
 船舶運航系)

 水産
 科目:
 船舶運航系)
 単位数: 3 単位

教 科: 水産

対象学年組:第 3 学年 B 組 教科担当者:木村・佐藤

使用教科書: 船舶運用

教科 水産 の目標:

【知 識 及 び 技 術 】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

「思考力、判断力、表現力等」 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 船舶運用(船舶運航系) の目標:

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
船舶の安全かつ適切な運用について体系的・ 系統的に理解しているとともに、関連する技 術を身に付けるようにする。	船舶の安全かつ適切な運用に関する課題を発 見し、船舶の運航や漁業生産に従事する者と して合理的かつ創造的に解決する力を養う。	用を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	1 海上気象 知識及び技術 海上気象について理解するととも に、関連する技術を卑に付ける。 「思考力、判断力、表現力等] 海上気象に関する課題を発見し、 船舶の安全な運航に着目して合理 的かの制造的に常行り、別間性等] 海上気象について自ら学び、船舶 の安全な運航の実現を目指して主 体的かの協働的に取り組む。	1 海上氣象 (1) 海上氣象 基礎 大氣の組成と構造・氣象要素 海氣觀測 (2) 氣質型と動態 氣間の種類と特徵 前線の種類と特徵 (3) 船舶運用演習	【知識・技術】 海上気象について理解するとともに、関連 する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 海上気象に関する課題を発見し、船舶の安 全な運航に着目して合理的かつ創造的に解 決しまとしている。 【主体的に学習に助り組む態度】 海上気象について自ら学び、船舶の安全な 運航の実現を目指して主体的かつ協働的に 取り組むもうとしている。	0	0	0	20
1 学	定期考査			0	0		1
子期	同上	1 海上気象 (4)高気圧と低気圧 高気圧と低気圧 高気圧の種類と特徴 低気圧の一般的性質 (5)日本近海の気圧配置と気象 等圧線の型気圧配置の型式(天気図型)と 特徴 (6)天気図の見方 天気図の記号 天気図による天気の予測 船舶への気象情報 (7)船舶運用演習	同上	0	0	0	20
	定期考査			0	0		1
2	2 応用機船 【知識及び技術】 機能の方法について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 機能に関する課題を発見し、船舶の安全な運航に着目して合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 機能について自ら学び、船舶の安全な運航に主体的かつ協働的に取り組む。	2 応用機船 (1)応用操船 (1)応用操船 縮泊法、投鐘・揚錦作業 絡み縮鎖、搶縮・探錦・検鏡 守錦法、入港投 編結上地法 機船上の踏の 利用法 库壁雕片的描述,被海航法 來復界航法、確海航法 來海航法 (2)船舶運用演習	【知識・技術】 操船の方法について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 操船に関する課題を発見し、船舶の安全な 運航に着目して合理的かつ創造的に解決し ようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 操船について自ら学び、船舶の安全な運航 に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	26
学期				0	0		1
	间上	2 広用操船 (3) 荒天運用 荒天の画面 荒天が行、荒運用 台風に関する 海 (4) 海難と応急 衛難と応急 衛難と応急 (6) 終射、曳水、舵故障 (5) 船舶運用演習	同上	0	0	0	21
	定期考查			0	0		1

3学期	3 船舶、船員、海洋関連法規 「知識及び技術】 筋員・船舶・海洋関係法規に関する基本的な内容について理解する。 思考力、判断力、表現力等】 船員・船舶・海洋関係法規について適切に判断し、船舶の安全と労働環境を収定者目して合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 部員・船舶・海洋関係法規について自ら学び、船舶の安全と労働環境の向上と国際公法の遵守を目指して主体的かった数値の要全と労働がある。	(2)船員労働安全衛生規則 (3)船舶職員及び小型船舶操縦者 法及び同法施行規則	【知識及び技術】 船員・船舶・海洋関係法規に関する基本的 な内容について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 船員・船舶・海洋関係法規について適切に 判断し、船舶の安全と労働環境及び国際公 法などに着目して合理的かつ創造的に解決 しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 船員・船舶・海洋関係法規について自ら学 び、船舶の安全と労働環境の向上と国際公 法の遵守を目指して主体的かつ協働的に取 り組もうとしている。	0	0	0	13
	定期考査			0	0		1
		_					合計
							105

高等学校 令和6年度 (3学年用) 教科 水産 科目 航海・計器 (船舶運航系) 水産 科目: 航海・計器 (船舶運航系) 単位数: 2 単位

教 科: 水産

対象学年組:第 3 学年 B 組

教科担当者:木村

使用教科書: (航海・計器

教科 水産 の目標:

【知 臓 及 び 技 術 】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

「思考カ、判断カ、表現カ等」 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する カを養う。 【学びに向かうカ、人間性等】 職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業 の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 航海・計器(船舶運航系) の目標:

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
系統的に理解するとともに、関連する技術を	して合理的かつ創造的に解決する力を養う。	用を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	1 地文報法 知識及び技術】 各種就法について理解するととも (対) (対)	1 地文航法 (2)推測航法 ・ 教程の線航法 ・ 教程の線航法 ・ 総理の線航法 ・ 海着をと軽差の対す程度の求め方 ・ 到着線と 到着程度の求め方 (3)平面航法の概要 - ドラバース表 - 平面航法の計算 (4) 距等圏航法 ・ 距等圏航法の概要	1 地文航法 知識及の比較術] 各種航法について理解するとともに、関連 各種航法について理解するとともに、関連 場合した。 「思考力、判断力、表現力等」 各種航法に関する課題を発見し、合理的か 引造的に関する課題を発見し、合理的か 会種航法について自ら学び、安全な航海を 目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	13
1 学期							
	定期考査	a life who dish Nile		0	0		1
	同上	1 地文航法 ・ 距等圏航法の計算 (5)中文線度航法の概要 ・ 中文線度航法の概要 ・ 中文線度航法の制算 (6)推測航法の計算 (6)推測航法の応用 ・ 連針系統法 ・ 流潮航法の応用	同上	0	0	0	15
	定期考査			0	0		1
	2 電波航法 【知識及び技術】 各種航法について理解するとと もに、関連する基本的な技術を身 に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 各種航法に関する課題を発見 し、合理的かつ創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 各種航法について自ら学び、安全な航海を目指して主体的かつ協 側的に取り組む。	2 電波航法 (1)電波の特性と分類 電波の特性 電波の特性 電波の特性 電波の分類 (2)全球測位衛星システム(GNSS) ・GPS ・GPS ・展発 ・無線力位測定機 ・長路曜電波航法システム (双曲線航法)・ディファレンシャル ・GPS (DGPS)	2 電波航法 【知識及び技術】 各種航法について理解するとともに、関連する基本的な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表型加多等】 各種航法に関する課題を発見し、合理的かの創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 各種航法について自ら学び、安全な航海を目指して主体的かつかの協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	14
	定期考査			0	0		1
2 学期		3 天文航法 (1) 天体の位置 、天球の位置の表し方 、天球の位置の表し方 ・測者と天球の関係 (2) 時 ・ 大陽時 ・ 時法 (3) 太陽による正午緯度の求め方 ・ 高度改正 ・ E及びdの求め方 ・ 正午緯度の求め方 ・ 正午緯度の求め方 ・ 恒星の時角の求め方 ・ 維星の時角の求め方 ・ 北極星の探し方	3 天文航法 【知識及び技術】 各種航法について理解するとともに、関連する基本的な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表型力等】 各種航法に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 各種航法について自ら学び、安全な航海 を目指して主体的かつ協働的に取り組もう としている。	0	0	0	15
	定期考査			0	0		1
3 学期		3 天文軟託 (5)太陽による船位の求め方 大陽による化置の線 ・船位の求め方 (6)太陽によるコンパス誤差の求 め方正午緯度の求め方 日出設時 、太陽によるコンパスの方位誤 差の求め方	同上	0	0	0	8
	定期考査			0	0		1
							合計
							70

年間授業計画 新様式例

 高等学校
 令和6年度(3学年用)教科
 水產
 科

 水產
 科
 目: 課題研究(船舶運航系)
 単位数: 4
 単位

 科目 課題研究(船舶運航系)

教 科: 水産

対象学年組:第 3 学年 B 組 教科担当者:佐藤、木村、佐々木、橋本 使用教科書: (航海・計器、船舶運用

教科 水産

の目標:

【知識及び技術】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する 力を養う。

【学びに向かうカ、人間性等】 職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業 の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究(船舶運航系) の目標:

【知識及び技術】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 航海計画実習 2 AI飲航予想プログラミング実習 知識及び技術] 知識及び技術] 知識及び技術] 船舶を安全な航途や航海計器に関 する知識を安全な航海計場に関 する知識のに、報理的かっ (基考力、判断力、表現力等] 船舶を安壁超を発見し、合理的かっ 創造的に向かう力、人間性等] 船内を中心と学び上体的かつ協働的 に取組むこと。	1 航海計画集習 (1) 岡田建在復航海下調べ (1) 岡田建在復航海下調べ (1) 岡田建在復航海下調べ (1) 小路図誌 (2) 衛務門の設計画 (3) 航海門連径往復航海実習 数材 (1) 海路 (3) 新海 (3) 新路 (3) 新路 (3) 新路 (3) 新路 (3) 新路 (3) 新路 (3) 新路 (4) 新路 (5) 新路 (5) 新路 (6) 新路 (7) 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	知識及び技術】 総舶を安全かつ適切に航海させるために必要な就法や航海計器に関する知識と技術を 取り得している。 【思考力、判断力、表現力等】 船舶を安全かつ適切に航海させるための課題を発見し、合理的かつ創造的に解決策を 見出せる。 【学びに向かう力、人間性等】 総約を中心とする集団行動を通してみずか 5学び主体的かつ協働的に取組むことが出 来る。	0	0	0	20
1 定期考査			0	0		1
期 1 新海計画実習 2 AI就航予想プログラミング実 2 知識及び技術 2 知識及び技術 3 開始を安全が加速や航神さる ために必要と技術を取得する。 【思考力、判断力、表現力等】 船舶を安全かの通見し、合理的かつ 創造的に耐かうち。 【型等力、を関し、合理的かっ 創造的に耐かうち。 【学びに向かうち。 【学びに向かうち。 【学びにか。 日本のからを引き、 日本のからを呼いた。 日本のからを呼いた。 日本のからを呼いた。 日本のからを呼いた。 日本のからを呼いた。 日本のからを呼いた。 日本のから、 日本のからを呼いた。 日本のから、 日本のも、 日本のから、 日本のも、 日本のから、 日本のも、 日本のから、 日本のも 日本のも 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の 日本の	航海計画実習 (1)下目港往復航海下調べ (1)下目港往復航海下調べ (1)水路図誌 (2)航路侵職 (3)航海市 港往復航海実習 数材 (3)衛沙及け開流 (3)航海市 港往復航海実習 数材 (3)高級財産 (3)高級財産 (3)高級財産 (3)高級財産 (4)に対策 (5)に対策 (5)に対策 (5)に対策 (6)に対策 (7)に対策 (7)に対策 (7)に対策 (7)に対策 (7)に対策 (7)に対策 (8)に対策	【知識及び技術】 級船を安全かつ適切に航海させるために必要な航法や航海計器に関する知識と技術を 取得している。 [思考力、判断力、表現力等] 船舶を安全かつ適切に航海させるための課題を発見し、合理的かつ예造的に解決策を 見出せる。 【学びに向かう力、人間性等] 総内を中心とする集団行動を通してみずか ら学び主体的かつ協働的に取組むことが出 来る。	0	0	0	30
定期考査			0	0		1

1 航海計画実習 【知識及び技術】 (1) 東京薄港往復航海下調べ ① 水路図誌 船舶を安全かつ適切に航海させる ために必要な航法や航海計器に関する知識と技術を 取得している。 【思考力、判断方、表現方学】 船舶を安全かつ適切に航海させる ための課題を発見し、合理的かつ 創造的に解決策を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 総内を中心とする集団行動を通してみずか ら学び主体的かつ協働的 に取組むこと。 【知書方、料面行動を通してみずか ののでは、大田性等】 ののでは、大田性が、大田性等】 ののでは、大田性が、大田性が、大田性が、大田性が、大田性が、大田性が、大田性が、大田性が
定期考査
学 1 航海計画実習 (1) 東京湾港往復航海下調べ (2) 東京湾港往復航海下調べ (2) 東京湾港往復航海下調べ (2) 外路図誌 (2) 外路図誌 (2) 外路図誌 (2) 外路図誌 (2) 外路 (2) 東京湾往復航海下調べ (2) 大きめに必要な航法や航海計器に関する知識と技術を取得する。 [思考力、判断力、表現力等] 総舶を安全かつ適切に航海をせるための課題を発見し、合理的かつ創造的に解決策を見出す。 (2) 東京湾往復航海実習 場合を安全かつ適切に航海をせるための課題を発見し、合理的かつ創造的に解決策を見出す。 (2) 本路社を安全かつ適切に航海をせるための課題を発見し、合理的かつ創造的に解決策を 数材 (2) 海路 (2) 本路誌 (3) 瀬沙表 (3) 海沙表 (3) 海沙表 (3) 新沙表 (3) 赤から学び主体的かつ協働的に取組むことが出来る。 (3) 水路は (3) 本路は (4) 本路
定期考査
1 仮想航海計画実習 (加識及び技術] (加識及び技術] (加識及び技術] (加識及び技術] (加識及び技術] (加藤及び技術] (加藤及び技術] (加藤及び技術] (加藤及び技術) (加藤田) (
定期考査

年間授業計画 新様式例

 高等学校 令和6年度 (3学年用) 教科
 水産
 科目 課題研究(船舶運航系)

 水産
 科目: 課題研究(船舶運航系)
 単位数: 2 単位

教 科: 水産

対象学年組:第 3 学年 B 組 教科担当者:佐藤、網谷、遠藤、橋本

使用教科書: (小型船舶操縦士学科教本 I 、II 、小型船舶操縦士実技教本

の目標:

【知 識 及 び 技 術 】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

「思考カ、判断カ、表現カ等」 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する カを養う。 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業 の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究(船舶運航系) の目標:

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	小型船舶の安全かつ適切な操船に関する課題 を発見し、漁業生産など海上業務に従事する	
	者として合理的かつ創造的に解決する力を養	関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働
	う。	的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	1 1級小型船舶学科・実技 知識及び技術】 船舶を安全かつ適可に航海させる ために必要な航法や航海計器に関 する知識と技術を取得する。 【思考力、判断力、表現力等】 都舶を安全かつ適切に就達させる ための課題を発見し、合理的かつ 創造的に解決策を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 船内を中心とする集団行動を通し に取組むこと。	1 1級小型船舶学科 (1) 小型船舶の船長の心得及び連守事項 ①水上交通の特性 ②小型船舶船長の心得 ③小型船舶船長の連守事項 数材 ①小型船舶操縦士学科数本 I ② 2 級小型船舶操縦士学科試験 問題集 2 1級小型船舶の取扱い ①発動前の準備及び点検 ②解らん・係留 ④方位測定 数材 ①小型船舶操縦士実技数本	知識・技術】 ・小型船舶の取扱いについて理解するとと もに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・小型船舶の取扱いに関する課題を発見し、発航前の準備及び点検に着目して合動かか到途的に解決したとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小型船舶の取扱いについて自ら学び、発航前点検、エンジンの運転・状態確認まで主体的かつ協働的に取り組もうとしている。。	0	0	0	8
1 学	定期考査			0	0		1
子期		1 1歳小型船舶学科 (1) 交通の方法 (1) 交通の方法 (一) 整備域での交通ルール (海上衝突干防法) (選性/医の交通ルール (3特定/開後) 海域での交通の方法 (海上交通安全法) 数材 ①小型船舶操縦士学科教本 I ②2 2級小型船舶操縦士学科試験 問題集 2 1級小型船舶実技 (1) 基本操縦 (2) 発達 (2) 発達 (3) 第2 (6) 進 (3) 数材 ①小型船舶操縦士実技教本	【知識・技術】 小型船舶の操縦について理解するととも に、小型船舶の操縦について理解するととも に、小型船舶の運輸の安全を確保するため の基本的な操船技術及び状況に応じた機船 技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 小型船舶の安全な運航の確保に関する 課題を発見し、基本的な操船技術及び状況 に応じた操船技術に合理的かつ創 遺節に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小型船舶機能について自ら学び、実際 の航海に活用できるように主体的かつ協働 的に取り組もうとしている。	0	0	0	12
	定期考査			0	0		1

	1 1歳小型船舶学科・実技 【知識及び技術】 新船を安全かつ適切に航海計器に関 市ために必要な航法や航海計器に関 する知識と特を取得力等】 無船を安全かつ適切に航海を出る。 「思考力、判断力、表現力等】 無船を安全かつ適切に航海を出る。 ための課題を発見し、合理的かつ 創造的に解決策を見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 船内な中心とする集団行動を通してみずからびまないの協働的 に取組むこと。	1 1級小型船舶学科 (1) 交通の方法 (1) 交通の方法 (河川法等) (河川法等) (2) 運航(一般) ①操縦一般 ②航海の基礎 ③動解体、設備 数材 ②小型船舶操縦士学科教本 I ② 2 級小型船舶操縦士学科試験 問題集 2 1級小型船舶実技 (1) 基本操縦 (2) 基本操縦 (1) 基本操縦 (1) 水型船舶操縦士実技教本	知識・技術 小型船舶の操縦について理解するととも に、小型船舶の操縦について理解するととも に、小型船舶の操縦があ及び状況に応じた機船 技術を身に付けている。 [退考・判断・表現] 小型船舶の安全な運航の確保に関する 課題を発見し、基本的な操船技術及び状況 に応じた機船技術に着目して合理的かつ創造的に解決しようとしている。 [主柱体的に学習に対しまり起む態度] 小型船舶の操縦について自ら学び、実際の航海に活用できるように主体的かつ協働的に取り組むうとしている。	0	0	0	18
	定期考査						1
2 学期	ために必要な航法や航海計器に関する知識と技術を取得する。	1 1級小型船舶学科 (1)運航 (一般) ①機関の取扱い ②気象・海象機と退避 ④事故対策 数材 ② 1、型化 (1) 型 (1	【知識・技術】 小型船舶における様々な状況を理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 小型船舶の運航に関する課題を発見し、 光天時の機能方法と選番行動と機関の保守 整備や機関故障時の対処の方法に着目して 合理的かつ創造的に解決しまうとしている。 【主体的に学習に取り組決態度】 気象・海象・流天時機能、機関の保守整備について自ら学び、正しい取扱いや緊急 備について自ら学び、正しい取扱い報もう としている。	0	0	0	17
	定期考査			0			1
3 学期	する知識と技術を取得する。 【思考力、判断力、表現力等】 船舶を安全かつ適切に航海させる ための課題を発見し、合理的かつ 』学にに向かう力、人間性等】 【学にに向かう力、人間性等】 都内を中心とする集団が動を通し てみずから学び主体的かつ協働的 に取組むこと。	1 1級小型船舶学科 (1)上級運航 ①気象及び海療職防止 ②気象及び海療職防止 (2)上級運航 ②流充航法及び海離防止 (2)上級運航 ②機関水障・の対処 数材 ①小型船舶操縦士学科数本II ②1級小型船舶操縦士学科試験 問題集 2 1級小型船舶実技 (1) 応用燥縦 ①離岸・着岸 数材 ①小型船舶操縦士学科教本II ②1級小型船舶操縦士学科試験 問題集	【知識・技術】 小型船舶における様々な状況を理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 小型船舶の運航に関する課題を発見し、 流天時の対処方法と機関の保守整備や機関 故障時の対処の方法に着目して合理的かつ 創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習で取り組む態度】 気象・海阜、完下時操船、機関の保守整 幅について最近、正しい取扱いや緊急 時の対処と海難防止に主体的かつ協働的に 取り組もうとしている。	0	0	0	10
	定期考査			0	0		1
							合計
							70

 学校 令和6年度 教科
 水產
 科目 総合実習(海洋生物系)

 科目:
 総合実習(海洋生物系)
 単位数: 2 単位
 高等学校 令和6年度 教科

教 科: 水産

対象学年組:第 3 学年 B 組 教科担当者: (北原・小原・浜野) 使用教科書: (

教科 水産 の目標:

【知 識 及 び 技 術 】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する 力を養う。 【学びに向かうカ、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関 連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 総合実習 (海洋生物系) の目標:

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	水産や海洋に関する課題を発見し、水産業や 海洋関連産業に関わる者として解決策を探究 し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決す る力を養う。	び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	1 加料生物培養 「知識及が技術」 健科生物について応用的な知識 や技術を身に付ける。 提考方、判断力、表現力等] 維料生物について課題を発見 し、合理的から別違的に解決する 【学びに向から力、人間性等】 維料生物の有効活用や応用技術 働的に取り組む	用する珪藻の培養方法について学	術を身に付けたか 【思考・判断・表現】 餌料生物培養について課題を発見し、合 理的かつ創造的に解決しようとしてるか	0	0	0	10
1学期	を発見し、合理的かつ創造的に解 決する	2 中間育成方針決め (1)文献検索 (1)文献検索 文献を検索し、ニジマスとアワビ の中間育成の方針を決める (2)管理方法決め 方針に沿った管理をするためには どのような設備や道具が必要なの か検討する	【思考・判断・表現】 中間育成方針決めについて課題を発見 し、合理的かつ創造的に解決しようとして	0	0	0	10
	や技術を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 中間育成に関する課題を発見 し、合理的かつ創造的に解決する 【学びに向かう力、人間性等】	3 中間育成 (1)ニジマス 海水馴致した個体としない個体で どの様な変化出てくるのか調べる (2)アリビ (2)アリビ いち早く出荷サイズにするために はどのようなエサを与えればよい のか、どのような女備が良いのか 様々な方法を試す	身に付けたか 【思考力、判断力、表現力等】 中間育成に関する課題を発見し、合理的 かつ創造的に解決しようとしているか 【学びに向かう力、人間性等】 中間育成について自ら学び、主体的かつ	0	0	0	12

2		4 文化祭展示 (1)テーマ決め どの様なテーマで展示物を飾るの か決める (2)展示方法決め どの様に展示したら来場者がよく との様に展示したら、場場がよく (3)冊子・パネル作成 より理解と深めてもらえるように 冊子やパネルを作成する	を身に付けているか 【思考・判断・表現】 文化祭展示について課題を発見し、合理 的かつ創造的に解決しようとしているか 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	16
学		にも気づいたことを発表する (2)アワビ どの様な設備・エサで一番成果が	いて基礎的な知識や技術を身に付けている か 【思考力、判断力、表現力等】	0	0	0	16
3学其	6 引継ぎ書作成 【知識及び技術】 引継ぎ書作成ついて基礎的な知 識や技術を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 引継ぎ書について課題を発見 し、合理的かつ創造的に解決する 【学びに向かう力、人間性等】 引継ぎ書作成ついて自ら学び、 主体的かつ協働的に取り組む	6 引継ぎ書作成 (1) 餌料生物培養 (2) 骨格標本 (3) 透明骨格標本 (4) 鯉下腺に高けて(1)~(4) までの 引継ぎ書を作成する	6 引き継ぎ書作成 【知識及び技術】 引継ぎ書作成ついて基礎的な知識や技術 を身に付けているか 【思考力、判断力、表現力等】 引継ぎ書について課題を発見し、合理的 かつ創造的に解決しようとしているか 【学びに向かう力、人間性等】 引継ぎ書作成ついて自ら学び、主体的か つ協働的に取り組もうとしているか	0	0	0	6
							合計
							70

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度(3学年用)教科 水産 科目 資源増殖(海洋生物系)

科 目: 資源增殖(海洋生物系) 単位数: 2 単位 教 科: 水産

対象学年組:第 3 学年 B 組

教科担当者:北原

使用教科書: (資源増殖(海文堂)

の目標:

教科 水産

【知 臓 及 び 技 術 】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

「思考カ、判断カ、表現カ等」 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する カを養う。 【学びに向かうカ、人間性等】 職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業 の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 資源増殖 (海洋生物系) の目標:

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ともに、関連する技術を身に付けるように	資源増殖に関する課題を発見し, 職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1学期	1 生産物の安全管理と環境対策 知識及び核病】 生態物の安全を登りと環境対策に 力強及がな会管理と環境対策に で理解するとともに、同 に関考か、判断力、表現力等】 生産物の安全見し、 日思考か、判断全見し、 日間、 生産物のを発見し、 日間、 日間、 日間、 日間、 日間、 日間、 日間、 日間、 日間、 日間	1 生産物の安全管理と環境対策 (1)生産物の特性と流通の現状 (2)食品トレーサビリティシステム ・伝達情報の表現様式及び格納 媒体 (3)電子タグを利用した流通システ	1 生産物の安全管理と環境対策 知識及び技術 生産物の安全管理と環境対策について理解 するとともに、関連する基本的な技術を身に 付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 生産物の安全管理と環境対策に関する課題 を発見し、合理的かつ創造的に解決しようと している。 【学びに向かう力、人間性等】 生産物の安全管理と環境対策について自ら 学び、資源管理と有効利用を目指して主体的 かつ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	13
	定期考査			0	0		1
	同上	1 生産物の安全管理と環境対策 (4) 養殖漁場の環境対策 ・自家汚染 ・適正収容量 ・養殖漁場の改善	同上	0	0	0	15
	定期考査			0	0		1
	2 流通と経済 知識及び技術] 治識及と経済について理解するとと もに、関連する基本的な技術を身に 付ける。 退患者力、判断力、表現力等引 流通と経済に関する課題力を発見し、会理的かつ創造のに解映する。 ではに向かう力、人間自ら学び、体 が選連や者かにいいる自信を学び、体 かつ筋傷的に取り組む。	2 漢連と経済 (1)経営 ・漁業協同組合 (JF) の役割 ・漁業保険制度 ・経営の安定化 (2)流通 ・特性と需要動向 ・水産物流通の仕組み	2 流通と経済 「知識及び挟術」 流通と経済について理解するとともに、関 連する基本的な技術を身に付けている。 【思海と経済に関する課題を発見し、合理的 かの削縮的に解決しようとしている。 【学びに向から力、人間性等】 流通と経済について自ら学び、資源管理や 有効利用を目指して主体的かつ協働的に取り 組もうとしている。	0	0	0	14
2	定期考査			0	0		1
学期	3 主な増養殖技術 【知識及び技術】 ・ 理養殖技術 ・ 理養殖技術 ・ 可養殖 ・ 可 ・ 可 ・ 可 ・ 可 ・ 可 ・ 可 ・ 可 ・ 可 ・ 可 ・ 可	3 主な増養雑技術 (1) 海洋動物 (魚頭) ・淡水魚類 ・淡水魚類 ・淡水魚類 ・海水魚類 ・クルマエビ ・グリマエビ	3 主な増殖技術 【知識及び技術】 増養雑技術について理解するとともに、関連する基本的な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 増養殖技術に関する課題を発見し、合理的 かり創造的に解決しようとしている。 【学びに向から力、人間性等】 増養殖技術にのいて自ら学び、資源管理や 者効利用を目指して主体的かつ協働的に取り 組もうとしている。	0	0	0	15
	定期考査			0	0		1
3 学期	同上	3 主な増殖技術 (3)その他の動物 ・ウニ類 ナーマニ類 (4)海洋植物 ・漁類 ・海草類	间上	0	0	0	9
							合計 70

 高等学校 令和6年度 (3学年用) 教科
 水産
 科目
 海洋生物系)

 教科:水産
 科目: 海洋生物 (海洋生物系)
 単位数: 2
 単位

対象学年組:第 3 学年 B 組

教科担当者:北原

使用教科書: (海洋生物(海文堂)

の目標:

教科 水産

【知 謙 及 び 技 術 】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

する。 【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 海洋生物 (海洋生物系) の目標:

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
もに、関連する技術を身に付けるようにする。	業生産に従事する者として合理的かつ創造的に解	水産資源管理や有効利用を目指して自ら学び、水 産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的か つ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学	1 脊椎動物 知識及び技術】 脊椎動物について理解するととも に対する 関連する基本的な技術を身に付ける 「思考力、判断力、表現力等乳 合理的かつ創造的に解決する 「学びに向かうか、人間性等】 脊椎動物について自ら学び、水産 育権動物につかて自ら学び、水産 協助にの、水産 、水産 、水産 、水産 、水産 、水産 、水産 、水産 、水産 、水産	1 脊椎動物 (1)魚類 - 体形、 - 体形、 - 結節、肉管 - 清明、野田、 - 清明、野田、 - 清明、野田、 - 東田、 - 東田 - 東田、 - 東田 - 由 - 由 - 由 - 由 - 由 - 由 - 由 -	1 脊椎動物 (知識及び技術) 脊椎動物について理解するとともに、関連する基本的な技術を身に付けている (思考力・削断力、表現力等) 脊椎動物に関する課題を発見し、合理的かつ過ぎ的に解ける課題を発見し、合理的かつ過ぎ的に解けるようとしている (学びに向かう力、人間性等) 脊椎動物について自ら学び、水産資源管理や有効利用を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている	0	0	0	14
期	定期考査			0	0		1
	同上	1 脊椎動物 (3)爬虫類 ・爬虫類の分類 ・主なカメ類 (4)哺乳類 ・態別亜目 ・クジラ類	同上	0	0	0	14
	定期考査			0	0		1
	2 海洋植物 「知識及び技術」 「知識及び技術」 「海洋植物について理解するととも 「成 「思考力、判断力、表現力等」 「海洋植物に同りる課題を見し、 今理的かつ創造的に解決する 「学びに向かうか、て自信とで、水産 「学びに向かうか、工自信とで、水産 資源や有効利用を目指して主体的か の態働的に取り組む。	- 栄養塩類の吸収 - 藻類の分類 (2)生殖と世代交代 - 藻類の生殖 - 種子植物の生殖 - 生活形	2 海洋植物 【知識及び技術】 海洋植物について理解するとともに、関連 する基本的な技術を身に付けている 【思考力・制所力、表現力等】 海洋植物に関する課題を発見し、合理的か の創造的に解ける課題を発見し、合理的か の創造的に解け入ようとしている 【学びに向かう力、人間性等】 海洋植物について自ら学び、水産資源や有 効利用を目指して主体的かつ協働的に取り組 もうとしている	0	0	0	14
2 学	定期考査			0	0		1
期	3 ブランクトン 「知識及び技術】 ブランクトンについて理解するとり どもに、関連する基本的な技術を身 に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 ブランクトンに同かる調整発見 、合理的かう力、人間性等〕 ブランクトンについて理解する 「学びに向かう力、人間性等〕 ブランクトンについて目指して主体 が必然の一般的に取り組む	3 ブランクトン (1) ブランクトンの生活 ・ブランクトンの生活と環境の 関わり ・植物プランクトンの役割 ・動物プランクトンの役割 (2)主なブランクトン ・植物プランクトン ・動物プランクトン	3 プランクトン 知識及び技術 プランクトンについて理解するとともに、間連する基本的な技術を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 プランクトンに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようしているか 【学びに向かう力、人間性等】 プランクトンについて自ら学び、水産資源 マ有効利用を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしているか	0	0	0	16
	定期考査			0	0		1
3 学期	4 本鑑賞解管理 「知識及好体育」 小花館資販管理にこれで理解すると はいまないでは、関連をするとないで理解すると ができます。 「思考力、判断力、表現力課題を発見 し、合理的かつ創造的に解映する 学びに向かう力、人間で等〕 水底質測管用でいるのでは、 学びに向かき理について自ち学び、 物が用用をも が動用を見ないである。 が動用を対して主体的かつ協働	4 木富豪潔管理 (1) 資源管理の方法 生物調査 標識技流 明、行権調査 - 日報調査及び魚群採査 (2) 資源管理の方法 - 資源管理の手法 - 3 末利用 - 低利用資源の活用 - 資源の存効活用 (4) 種の保全 - 絶議のおそれのある海洋生物 - 外来生物 - 希少生物の保全	4 水産資源管理 「知識及の対核制」 水産資源管理について理解するとともに、 関連する基本的な技術を身に付けている 【思考力、制防力、表現力等】 水産資源管理に関する課題を発見し、合理 的かの創造的に解決しましているか 【学びに向から力、人間性等】 水産資源管理について自ら学び、有効利用 を目指して主体的かつ協働的に取り組もうと しているか	0	0	0	8
							合計
							70

高等学校 令和6年度 教科 水産 科目 海洋環境(海洋生物系)

教 科: 水産 科 目: 海洋環境(海洋生物系) 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 B 組~ 組

教科担当者: (A組:橋本(啓))(組:)(組:)(組:)(組:)

使用教科書: (海洋環境(海文堂)

教科 水産 の目標:

【知 識 及 び 技 能】水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等」職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興 ・ 公社会貢献に主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。

科目 海洋環境(海洋生物系) (

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
とともに、関連する技術を身に付けるように	容関連産業に関わる者として合理的かつ創造 的に解決する力を養う。	海洋環境の管理や保全を目指して自ら学び、 持続可能で発展的な水産業や海洋関連産業の 振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組 む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	水産・海洋関連産業と環境保全 【知識及び技能】 水産業や海洋関連産業と環境保全について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 水産業や海洋関連産業と環境保全における課題を発見し、水産維持や増大を図る必要性に着目して合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋や陸水の環境保全について自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興に主	・指導事項 水産・海洋関連産業と環境保全 資源増殖と環境保全 海洋性レクリエーションと環境保全 ・教材 資源増殖と環境に関係した記事や論文 海洋性レクリエーションと環境に関係 した記事や論文 一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 水産業や海洋関連産業と環境保全について基礎的な 内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 水産業や海洋関連産業と環境保全における課題を発 見し、水産維持や増大を図る必要性に着目して合理 的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋や陸水の環境保全について自ら学び、水産業や 海洋関連産業の振興に主体的かつ協働的に取り組も うとしている。	0	0	0	8
1	定期考査			0	0		1
期	漁場環境と調査 【知識及び技能】 温場環境の特性と漁場調査の基本的な 内容について理解すること。 「思考力、判断力、表現力等】 温場環境と調査に関する課題を発見 し、水産資源の維持や増大を図る必要 性に着目して合理的かつ創造的に解決 すること。 【学びに向かう力、人間性等】 漁場環境の調査について学び、水産業 や海洋関連産業の振興に主体的かつ協 働的に取り組むこと。	・指導事項 漁場環境と調査 漁場環境と特性 ・教材 漁場環境と特性に関する論文及び研究 一人 1 台端末の活用 等	【知識及び技能】 漁場環境の特性と漁場調査の基本的な内容について 理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 漁場環境と調査に関する課題を発見し、水産資源の 維持や増大を図る必要性に着目して合理的かつ創造 的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 漁場環境の調査について学び、水産業や海洋関連産 業の振興に主体的かつ協働的に取り組もうとしてい る。	0	0	0	9
	定期考査			0	0		1
	漁場環境と調査 【知識及び技能】 協場環境の特性と漁場調査の基本的な 内容について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 漁場環境と調査に関する課題を発見 し、水産資源の維持や増大を図る必要 性に着目して合理的かつ創造的に解決 すること。 【学びに向かう力、人間性等】 漁場環境の調査について学び、水産業 や海洋関連産業の振興に主体的かつ協 働的に取り組むこと。	・指導事項 漁場環境と調査 漁場場の調査 ・教材 調査方法に関する最新の技術や記事 一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 漁場環境の特性と漁場調査の基本的な内容について 理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 漁場環境と調査に関する課題を発見し、水産資源の 維持や増大を図る必要性に着目して合理的かつ創造 的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 漁場環境の調査について学び、水産業や海洋関連産 素の振興に主体的かつ協働的に取り組もうとしてい る。	0	0	0	16
2	定期考査			0	0		1
学期	海洋開発と環境改善について理解する とともに、関連する技術を身に付ける こと。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋開発と環境改善に関する課題を発 見し、水産資源の維持や増大を図る必 要性に着目して合理的かつ創造的に解 決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋開発と環境改善について自ら学 び、水産業や海洋関連産業の振興に主 体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 海洋工事と環境保全 漁場造成技術 ウォーターフロント開発 ・教材 ・教材工事の最新技術に関する記事や論 文 一人 1 台端末の活用 等	【知識及び技能】 海洋開発と環境改善について基礎的知識を理解する とともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋開発と環境改善に関する課題を発見し、水産資 源の維持や増大を図る必要性に着目して合理的かつ 創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋開発と環境改善について自ら学び、水産業や海 洋関連産業の振興に主体的かつ協働的に取り組もう としている。	0	0	0	16
	定期考査			0	0		1

3 学 期	無洋工事と環境保全 【知識及び技能】 とともに、関連する技術を身に付けること。 とともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋開発と環境改善に関する課題を発見、水産資源の維持や増大を図る必要性に着目して合理的かつ創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 「学びに向から力、人間性等と環境改善に変換すること。 【学びに向から力、大けのでは自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興に主体的かつ協働的に取り組むこと。	・指導事項 海洋工事と環境保全 環境改善技術 ・教材 海洋保全に向けた改善方法の記事や論 文 一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 海洋開発と環境改善について基礎的知識を理解する とともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋開発と環境改善に関する課題を発見し、水産資 源の維持や増大を図る必要性に着目して合理的かつ 創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋開発と環境改善について自ら学び、水産業や海 洋関連産業の振興に主体的かつ協働的に取り組もう としている。	0	0	0	16
	定期考査			0	0		1
							合計 70

 高等学校
 令和6年度(3学年用)教科
 水産
 科目
 課題研究(海洋生物系)

 水産
 科目: 課題研究(海洋生物系)
 単位数: 3 単位

教 科: 水産

対象学年組:第 3 学年 B 組 教科担当者:北原・小原・浜野

使用教科書: (教科 水産

の目標:

【知 識 及 び 技 術 】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する 力を養う。

職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関 連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究 (海洋生物系) の目標:

【知識及び技術】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】

							配出
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1学期	1	1 個料社物培養 (1)シオミズツボワムシ培養 植え継ぎ培養や連続培養について 学びそれぞれの培養方法のメリットやデメリットについて学ぶ (2)珪藻培養 アワビやトコブシの種苗生産で使 用する珪藻の培養方法について学ぶ	1 個料生物培養 知識、社技術] 個料生物培養について応用的な知識や技 情と考・時間・表現】 個科生物培養について課題を発見し、合理的かの創造的に解決しようとしてるか [主体的に学習に取り組む態度] 個料生物培養の有効活用や応用技術について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組 もうとしているか	0	0	0	10
		2 骨格標本作成 (1)標本作成方法下調べ 標本作成方法下調べ 標本作成方法下記についてインター ネットや本を利用して調べ学習を 行う (2)標本作成 日用品を使用して標本作成を行う (3)冊子作製 標本作成を冊子にまとめ文化祭で 配布する	【知識・技術】 骨格標本について基礎的な技術や知識を 身に付けたか [思考・判断・表現】 骨格標本について課題を発見し、合理的 かつ創造的に解決しようとしてるか 【主体的に学習に取り組む態度】 骨格標本について自ら学び、主体的かつ 協働的に取り組もうとしているか	0	0	0	15
	3 透明骨格標本作成 【知識及び技術】 透明常格標本作成に関する基礎 的充分顯於技術を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 透明骨格標本に関する課題を発 見し、合理的かつ創造的に解決する 【学びに向かう力、人間性等】 透明常格標本作成について自ら 学び、主体的かつ協働的に取り組 む	3 護明曾格標本作成 (1)透明曾格標本作成方法下調べ 透明曾格標本作成方法についてインターネットや本を利用して調べ (2)標本作成 透明曾格標本作成を行う (3)樹脂封入 完成した透明骨格標本を樹脂封入 する	3 透明骨格標本作成 【知識及び技術】 透明育格標本に関する基礎的な知識や技術を身に付けたか。 [選考・判断・表現】 透明骨格標本について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしているか 主主体的に学習に取り組む態度】 透明骨格標本について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしているか	0	0	0	15
2	4 文化祭展示 【知識及び技術】 文化祭展示について応用的な知 識や技術を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 文化祭展示について課題を発見 し、合理的かつ創造的に解決する 【学びに向かう力、人間性等】 文化祭展示について自ら学び、 主体的かつ協働的に取り組む	4 文化祭展示 (1)テーマ決め どの様なアーマで展示物を飾るの か決める (2)展示方法決め どの様に展示したら来場者がよく (3)冊子・バネル作成 より理解と深めてもらえるように 冊子やバネルを作成する	4 文化祭展示 【知識・技術】 文化祭展示について応用的な知識や技術 を身に付けているか 【思考・判断・表現】 文化祭展示について課題を発見し、合理 的かつ創造的に解決しようとしているか 【主体的に学習に取り組む態度】 文化祭展示について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしているか	0	0	0	24
2 学期	5 鰓下腺による染物作成 【知識及び技術】 アッキガイ科の鰓下腺による染物作成について基礎的な知識や技 術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 アッキガイ科の鰓下腺による染 物作成について課題を発し、合 理的かつ創造的に解決する 【学びに向かう力、人間性等】 アッキガイ科の鰓下腺による染 物作成について自ら学び、主体的 かつ協働的に取り組む	5 鯉下腺による染物作成 (1)直接塗布法 直接塗り込む方法で染色する (2)関節塗布法 間接的に塗り込む方法で染色す る	5 鰓下腺による染物作成 【知識・技術】 アッキガイ科の鰓下による染物作成について基礎的な知識や技術を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 アッキガイ科の鰓下腺による染物作成について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしているか 【学びに向かう力、人間性等】 アッキガイ科の鰓下腺による染物作成について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組くもうとしているか	0	0	0	23

3 学期	引継ぎ書について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する 「学びに向からカー人関性等」	6 引継ざ書作成 (1) 餌料生物培養 (2) 骨格標本 (3) 透明骨格標本 (4) 鯉下腺による染色 次年度に向けで(1)~(4) までの 引継ぎ書を作成する	6 引き継ぎ書作成 知識及び技術] 引継ぎ書作成ついて基礎的な知識や技術 を身に付けているか [思考力、判断力、表現力等] 引継ぎ書について課題を発見し、合理的 かつ創造的に解決しようとしているか 【学びに向かう力、人間性等】 引継ぎ書作成ついて自ら学び、主体的か つ協働的に取り組もうとしているか	0	0	0	18
							合計
							105

高等学校 令和6年度 (3学年用) 教科 水産 科目 海洋環境 (海洋産業系)

教 科: 水産 科 目: 海洋環境(海洋産業系) 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 B 組~ 組

教科担当者: (組: 清水) (組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (海洋環境(海文堂出版)

教科 水産 の目標:

【 知 識 及 び 技 能 海洋や海洋環境管理について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等、水産や海洋環境に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等:職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社 会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 海洋環境(海洋産業系) の目標:

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
海洋や海洋環境管理について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者	海洋環境管理や海洋関連産業の充実を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期		 ・指導事項 第1節 漁場造成技術 第2節 ウオータフロント開発 第3節 環境改善技術 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人1台端末の活用 等 	1 海洋環境管理の概要 【知識及び技術】 海洋と環境の基本的な内容について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 海洋環境管理に関する課題を発見し,合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋と環境の管理について自ら学び、安全な航海を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	24
	定期考査						1
2 学期		 ・指導事項 第1節 探究活動の概要 第2節 探究活動の進め方 ・教材 ・一人 1 台端末の活用 等 	1 海洋環境管理の概要□知識及び技術】□河 【知識・技術】 水産や海洋と産業、政策などについて基本的な内容を理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 探究活動を通して地域産業の課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい地域産業の構築を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	0	0	0	28
	定期考査			0	0		1
	第2章 資源増殖と環境保全 【知識及び技術】 水産や海洋の活用法や未利用資源 の有効活用、機能性成分などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 科学的な視点で水産や海洋のおり、 提等的な視点で水産や高活用 法や未利用資源系 機能性成分は に関するに解決する。 【学びに対かう力、を目指しを 地域産業グローバルな視点をも的か 地域の振興や社会貢献に主体的か の協働的に取り組む。	 ・指導事項 第1節 水産生物と環境要因 第2節 環境保全型養殖 ・教材 教科書、ノート、プロジェクター ・一人1台端末の活用 等 	1 海洋環境管理の概要 【知識・技術】 水産や海洋の活用法や未利用資源の有効活用、機能性成分などについて理解している。 【思考・判断・表現】 科学的な視点で水産や海洋の活用法や未利用資源、機能性成分などに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域産業の活性化を目指して自ら学び、グローバルな視点をもって地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	0	0	0	16

			[[合計	
			i I		
				70	
			i l	1	